

令和 8 年度 三重県教職員研修計画



令和 8 年 3 月
三重県教育委員会

目次

はじめに	1
I 自己の資質・能力の向上を図るために	
1 資質・能力向上のビジョンを持つ	2
2 研修を効果的に活用する	2
3 リフレクション（省察）を大切にする	3
※一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進について	3
II 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励	
1 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励	4
2 研修受講履歴の確認や記録（入力）の方法	7
3 研修講座について	10
III 校長及び教員としての資質の向上に関する指標	
1 校長及び教員としての資質の向上に関する指標とは	13
2 指標の構成	13
3 指標の活用 Q&A	15
4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標	16
（1）教員としての資質の向上に関する指標	16
（2）教頭・准校長及び校長に必要な事項	18
（3）養護教諭に必要な事項（専門領域）	19
（4）栄養教諭に必要な事項（専門領域）	20
5 小中学校事務職員としての資質の向上に関する指標	21
IV 各ライフステージの資質・能力にかかる項目に対応した研修	
1 【第1ステージ：基礎形成期】 初任～教職経験5年次	23
2 【第2ステージ：伸長期】 教職経験6年次～10年次	28
3 【第3ステージ：充実期】 教職経験11年次～20年次	33
4 【第4ステージ：発展期】 教職経験21年次以降	38
5 【教頭・准校長：マネジメント力の強化】	43
6 【校長：マネジメント力の発揮】	44
7 【小中学校事務職員 第1ステージ：基礎形成期】 主事	46
8 【小中学校事務職員 第2ステージ：伸長期】 主任	47
9 【小中学校事務職員 第3ステージ：充実期】 主査	48
10 【小中学校事務職員 第4ステージ：発展・深化期】 主幹・事務の共同実施リーダー	49
11 【小中学校事務職員 第4ステージ：発展・深化期】 総括主幹・事務の共同実施リーダー	50
V オンデマンド型研修（ネットDE研修）	
1 受講の方法	51
2 ネットDE研修公開講座一覧	52

はじめに

人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展、子どもの貧困等の社会の課題に加え、情報技術の発展、中でも生成 AI の出現等、加速度的に社会が変化し、現代は将来の「予測が困難な時代」と言われています。このような時代において、学校教育には、子どもたちのウェルビーイングを実現していくため、子どもたち一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的課題を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、「持続可能な社会の創り手」になるために必要な力を育むことが求められています。

そのため、教職員は、子ども一人ひとりの力を最大限に引き出し、主体的な学びを支援する役割を果たすことができるよう、教職生活全体を通じて新しい知識や技能を学び続ける必要があります。さらに、学校が抱える様々な課題の解決に向け、組織的・協働的に取り組む必要があります。

本県においても、学校の状況は、経験豊かな教職員の退職と若手教職員の増加に伴い、学校における年齢構成が大きく変化し、これまでの教育実践の蓄積を引き継ぐことが難しくなってきました。また、子どもたちを取り巻く社会の変化に対応できる力が必要となり、学習指導要領をふまえた授業改善に加え、これまで以上に組織的・計画的な人材育成やマネジメント能力の育成が求められています。

そこで、これらの状況や三重県教育ビジョンの策定の趣旨をふまえ、「校長及び教員の資質の向上に関する指標」（以下、「指標」という。）に基づき、資質・能力を身につけるための「令和 8 年度三重県教職員研修計画」を定めました。

本研修計画の活用を進めることにより、一人ひとりの教職員がそれぞれの経験年数や職種・職責に応じて計画的に研修等に取り組み、自らの資質・能力の向上を図るとともに、子どもたちの自己肯定感を涵養する教育に取り組むことを期待しています。各市町等教育委員会、各学校におかれましては、指標や本研修計画をふまえた研修を企画・運営するなどして、教職員のライフステージに応じた人材育成の推進をお願いします。

令和 8 年 3 月
三重県教育委員会

I 自己の資質・能力の向上を図るために

主体的に学び続ける教職員の姿は、子どもたちにとっても重要なロールモデルです。

ここからは、教職員一人ひとりが自己の資質・能力の向上を図るためのポイントについて、「資質・能力向上のビジョンを持つ」「研修を効果的に活用する」「リフレクション（省察）を大切にする」の3つの観点から解説します。

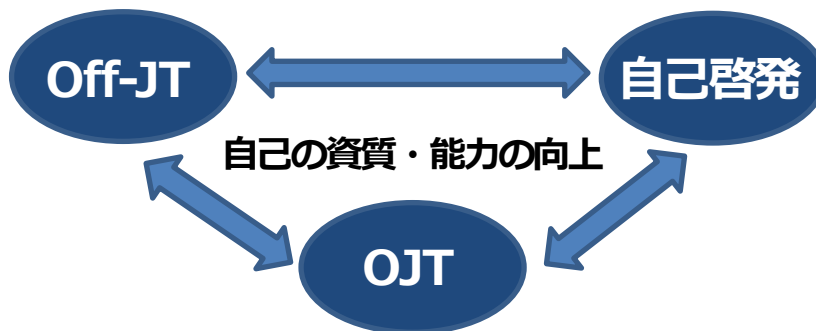
また、自己の資質・能力の向上が子どもたちの自己肯定感の涵養につながるよう、その趣旨について解説します。

1 資質・能力向上のビジョンを持つ

教職員が身につけるべき資質・能力には、「教職に必要な素養」や「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」「教育課題への対応力」の教職員として必要なものと、職場で与えられた役割において必要なもの等があります。いずれにしても、短期、中・長期においてどの資質・能力をどのように伸ばしていくべきか、「教職員研修計画」を参考に資質・能力向上のビジョンを持つことが大切です。

2 研修を効果的に活用する

自己の資質・能力を向上させるためには、「校内研修や教育実践をとおした学び（OJT）」、「校外研修（Off-JT）」、「教職員自らによる学び（自己啓発）」の三つの手段があいまってその効果が発揮されます。教職員は、「校外研修」で学ぶ機会を一つの契機として受け止め、「校内研修や教育実践をとおした学び（OJT）」の活性化につなげることと、それらの学びを生かして、自己啓発に励むことが重要です。



(1) 校内研修や教育実践をとおした学び（OJT）について

校内研修や教育実践をとおした学び（OJT）とは、校内研修、学年会、教科会等や、日常的な教育実践、職務をとおして、教職員として必要な知識や技能、意欲等を意識的、計画的、継続的に高めていく取組です。

（例）・「役割・経験」をとおして学ぶ

日常的な業務だけでなく、「背伸びの経験」となるような仕事や役割をとおして資質・能力の向上を図ることが大切です。

・「人」から学ぶ

経験の浅い教職員には、組織として意図的に多くの先輩教職員と関わる環境をつく

ることが大切です。そして、経験豊かな教職員には、経験の浅い教職員を育てる場を設定します。

(2) 校外研修 (Off-JT) について

校外研修 (Off-JT) とは、学校以外の研修機関等で学ぶ研修のことです。校外研修を受講する際は、講義や演習をとおして得た学びを具体的にどのように活用するのかを明確にするよう心がけましょう。校内研修や教育実践をとおした学び (OJT) と往還することで、効果的・効率的に資質・能力の向上を図ります。

- (例) ・三重県教育委員会主催の研修
・市町等教育委員会主催の研修 等

(3) 教職員自らによる学び (自己啓発) について

教職員自らによる学び (自己啓発) とは、教職員としての資質・能力を向上させるために、課題意識を持って様々な研鑽と修養に励むことです。得られた知識・技能等は、教育実践や校内研修等を通じて還元しましょう。

- (例) ・教職に関する文献等の活用
・セミナーへの参加 等

3 リフレクション (省察) を大切にする

リフレクション (省察) とは、言動や考え方を振り返り、自分自身を客観的に見つめ直すことです。研修において得た学びを実践に生かすためには、研修後にリフレクション (省察) を行い、研修での学びや成長を整理するとともに、これまで行ってきた教育実践や職務等の課題を洗い出し、改善するための今後の具体的な目標を立てることが大切です。

一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進 (基本施策1「未来の礎となる力の育成」施策(1))

「三重県教育ビジョン」の施策の筆頭に掲げる「一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進」では、子どもたちがありのままの自分が認められている実感を持つとともに、多様な他者と交わる活動や多様な体験活動をとおして、自己肯定感や幸福感など一人ひとりのウェルビーイング※が向上することをめざしています。その主な取組の一つに「教職員の指導力の向上」を掲げています。

そこで、本県における教職員研修を計画的に実施し、子どもたちが学ぶ楽しさ・わかる喜び、「自分も一人の人間として大切にされている」という実感につながる教育を行うことができるよう、教職員の資質・能力の向上を図ります。

※ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものです。

《ウェルビーイングの要素とは》

「幸福感 (現在と将来、自分と周りの他者)」、「学校や地域でのつながり」、「協働性」、「利他性」、「多様性への理解」、「サポートを受けられる環境」、「社会貢献意識」、「自己肯定感」、「自己実現 (達成感、キャリア意識など)」、「心身の健康」、「安全・安心な環境」 など

Ⅱ 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

1 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

文部科学省より令和4年8月に示された「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」に基づき、公立小学校等においては、研修履歴を活用して、学校管理職等が各校の教職員等に対して、対話による資質・能力の向上に向けた指導助言等を行います。

ここでは、実施方法等についてのポイントを示します。（詳細は、実施要領を参照）

（１）目的について

研修履歴を活用することにより、教職員が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が受講奨励を含む適切な指導助言を通じて、教職員の効果的かつ主体的な資質・能力の向上を図ることを目的としています。

（２）校長等の管理職の役割について

校長等の管理職は、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を通じ、所属教職員の人材育成に大きな責任と役割を担っています。その際、研修履歴を活用することにより、教職員が自らの学びを振り返るとともに、管理職等が研修の奨励を含む指導助言等を行うことで、効果的かつ主体的な資質・能力の向上を図ります。

※高等学校、特別支援学校の校長には、三重県教育委員会が、小学校、中学校、義務教育学校の校長には、所管する市町等教育委員会が受講奨励を行います。

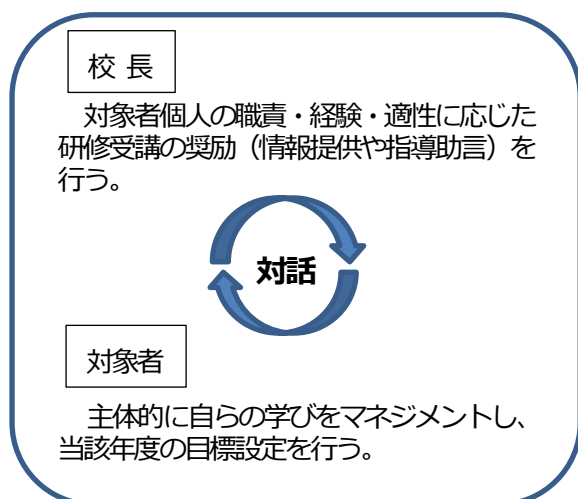
（３）対象となる教職員について

公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に勤務する校長、准校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭 等

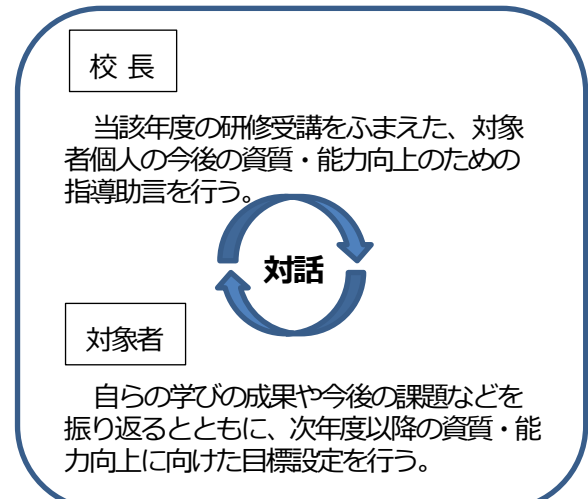
（４）面談方法・時期について

「指標」及び「教職員研修計画」をふまえ、今後どの分野の学びを深めるべきか、学校で果たすべき役割に応じてどのような学びが必要か等について、話し合います。

【年度初め】（５月下旬までに実施）



【年度末】（２月上旬までに実施）



(5) 留意事項について

＜校長等の管理職＞

- 十分に当該教職員の意向をくみ取りながら指導助言等を行ってください。
- 期待される水準の研修を受けているとは到底認められない場合等には、校長が職務命令として研修を受講させることができます。

＜対象となる教職員＞

- 研修履歴自体や研修量の多寡そのものが評価されるものではありません。
- 研修を行った結果として、発揮した能力や挙げた業績については、人事評価の対象になります。

(6) 研修履歴の記録について

研修履歴の記録は、教職員が自身の学びを振り返りつつ、現状の把握と適切な目標設定を行うために必要不可欠であり、主体的で個別最適な学びを実現する上でのベースとなります。

① 記録の範囲

必須記録研修（必ず記録する必要がある研修）

- i) 三重県総合教育センター（三重県教育委員会事務局研修企画・支援課、研修推進課）が実施する研修【自動】
- ii) 新教育大学等大学院教員派遣、大学等教員長期派遣【自動】
- iii) 大学院修学休業により履修した大学院の課程等【自動】
- iv) 教員等中央研修、独立行政法人教職員支援機構及び独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が実施する研修【自動】
- v) 三重県総合教育センター以外の県教育委員会事務局の各課が実施する研修
※研修講座の内容等については、各担当課へお問い合わせください。
- vi) 三重県教育委員会が開設する免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得

任意記録研修（必要に応じて記録する研修）

- vii) ネット DE 研修（三重県総合教育センターが実施するオンデマンド型研修）【自動】等
- viii) 研究大会（三重県人権・同和教育研究大会等）、教科研究会（三重県高等学校英語教育研究会等）における研修・研究、市町等教育委員会主催の教職員研修等
- ix) 学校現場で行われる校内研修・研究等
- x) 教職員が自主的に参加する研修等

- 情報提供や説明会に留まるものは記録の対象としません。
- 【自動】…県の研修講座受講システムを通じて受講終了の都度、自動的に記録されます。
- 任意記録研修のうち、市町等教育委員会が必須記録研修と定めるものは、必ず記録する必要があります。

② 記録方法

研修履歴の記録の作成は、「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」(以下、改正法という。)の施行日(令和5年4月1日)以後に受講する研修等について適用することとします。

ア 自動的に記録(5ページで【自動】と記載のある研修)

- 自動的に8ページ【図1】のように記録されます。
- 初任者研修や中堅教諭等資質向上研修等の悉皆研修の選択研修、社会体験研修、初任者研修の校内研修は自動的に記録されません。初任者研修や中堅教諭等資質向上研修等の悉皆研修は、その実施要項に示される「報告書」等、別途提出物があります。ただし、それらが研修履歴へ自動的に記録される訳ではありません。
- 講座に対する「振り返り・気づき等」(8ページ【図1】参照)は各自、任意で入力してください。

イ 教職員個人が記録

受講する研修の実施要領等を参照し、適切な時期に各自で必要事項を記録(入力)してください。(入力方法は8ページ)

③ 記録管理

- 県の研修講座受講システムでは、教職員の退職までの研修履歴の記録がデータ保存されます。
- 研修履歴の記録は、その対象となる教職員に係る個人情報に該当するもので、適正に取り扱う必要があります。
- 記録すること自体が目的化したり過度な負担となったりしないよう、記録の簡素化に留意してください。

2 研修受講履歴の確認や記録（入力）の方法

(1) 研修受講履歴の確認方法

手順1：三重県総合教育センターWebページ（<https://www.mpec.jp/>）を開きます。

手順2：Webページ中央の「研修履歴照会・入力」をクリックします。



手順3：「学校ID」「学校パスワード」「職員番号」「職員パスワード」を入力して認証ボタンをクリックします。

＊「学校ID」は学校番号です。「学校パスワード」は4月中旬頃、各学校宛てに文書を発送しています。

＊「職員パスワード」の初期値は「m+職員番号+@」（例：m123456@）です。ログイン後、変更し、個人で管理をしてください。

※職員パスワードの管理は、各自で行います。変更後は、忘れないように留意してください。

以下の画面「研修講座受講履歴」が表示されます。

とじる

1 研修講座

20 研修講座受講履歴

【表1】

受講履歴を確認する年度を選択してください。(Ctrlキーを押しながらクリックすると複数選択/選択解除できます)

職員 000001 職員 太郎

受講年度 令和5

全選択

全解除

検索

帳票印刷

CSV出力

検索結果 3件中 1-3件

受講年度	研修名 研修形態	研修内容	実施日	研修時間	教育育成指標との関係	主催	振り返りや気づき ※任意で入力
令和○	【法定・悉皆】【集合】 第2回初任者研修	・学習指導 ・外国人児童生徒教育 ・危機管理 ・ICTや情報・教育データの活用 ・キャリア教育 ・社会性コミュニケーション力	令和○ 05/21	2:30	児童生徒理解/生徒指導 いじめへの対応	研修担当	登録・編集 教員としての心構えや考え方を理解することができた。 グループワークでは積極的に意見交換することができた。
令和○	【法定・悉皆】【遠隔】 第1回初任者研修	・教育的愛情 使命感 責任感 ・倫理観 コンプライアンス ・人権教育 ・学び続ける意欲 探究心 ・児童生徒理解 ・防災教育	令和4 04/17 令和○ 04/18 令和○ 04/19	3:00	教育的愛情 使命感 責任感	研修担当	登録・編集

※表内右列「振り返りや気づき」のセル内にある「登録・編集ボタン」をクリックし、研修内容に関する「振り返りや気づき」について200字以内で入力することができます。

(2) 研修受講履歴の記録(入力)方法

(三重県総合教育センターが実施する以外の研修を受講履歴として記録する場合)

手順1：三重県総合教育センターWebページ (<https://www.mpec.jp/>) を開きます。

手順2：Webページ中央の「研修履歴照会・入力」をクリックします。

手順3：「学校ID」「学校パスワード」「職員番号」「職員パスワード」を入力して認証ボタンをクリックします。(職員パスワードは忘れないように留意してください)

手順4：Webページ右上の「研修講座履歴入力」をクリックし、必要事項を入力・選択し、「確認画面に進む」をクリックし、確認後、「この内容で登録する」をクリックし、登録してください。(9ページ【表2】参照)

とじる 図

1 研修講座

20 研修講座受講履歴

受講履歴を確認する年度を選択してください。(Ctrlキーを押しながらクリックすると複数選択/選択解除できます)

職員 000001 職員 太郎

受講年度 令和5

研修講座履歴入力

検索結果 3件中 1-3件

受講年度	研修名 研修形態	研修内容	実施日	研修時間	教員育成指標との関係	主催	振り返りや気づき ※任意で入力
令和○	【法定・必修】【集合】第2回初任者研修	・学習指導 ・外国人児童生徒教育 ・危機管理 ・ICTや情報・教育データの活用 ・キャリア教育 ・社会性コミュニケーション力	令和○ 05/21	2:30	児童生徒理解/生徒指導 いじめへの対応	研修担当	登録・編集
令和○	【法定・必修】【遠隔】第1回初任者研修	・教育的愛情 使命感 責任感 ・倫理観 コンプライアンス ・人権教育 ・学び続ける意欲 探究心 ・児童生徒理解 ・防災教育	令和4 04/17 令和○ 04/18 令和○ 04/19	3:00	教育的愛情 使命感 責任感	研修担当	登録・編集

1 研修講座

21 研修講座履歴入力（研修担当実施以外）

研修講座の受講履歴の登録ができます。（研修担当実施以外）
研修情報、および振り返り・気づきを記入して、[確認画面に進む]ボタンをクリックしてください。

項目	内容	登録時の留意事項	
研修年度	令和04年度		
受講日		10日まで	
研修名 (講座名)	0文字	50字まで	
研修内容	0文字	200字まで	
研修時間	:	1時間23分の場合 1 : 23	
教員 育成指標	☐ 教育的愛情 使命感 責任感 ☐ 社会性 コミュニケーション力 ☐ 学校運営への参画 ☐ 授業計画 ☐ 授業改善 ☐ 生徒指導 いじめへの対応 ☐ 特別支援教育 ☐ 不登校児童生徒への支援 ☐ グローカル教育 ☐ 防災教育 ☐ 倫理観 コンプライアンス ☐ 学び続ける意欲 探究心 ☐ 危機管理 ☐ 授業実践 ☐ 児童生徒理解 ☐ キャリア教育 ☐ 外国人児童生徒教育 ☐ ICTや情報・教育データの活用 ☐ 人権教育		
教員 育成指標	☐ 管理職に必要な素養 ☐ 学校ビジョンの明示 ☐ 家庭・地域社会・関係機関との連携と協働 ☐ 職場環境づくり チームワーク ☐ 人材育成 ☐ 課題把握 ☐ 学校運営 ☐ 危機管理 ☐ 教員の資質向上		
保健 指導	☐ 保健管理 ☐ 保健室経営 ☐ 保健組織活動	☐ 保健教育 ☐ 健康相談	
栄養 指導	☐ 栄養管理（献立作成） ☐ 給食の時間の指導 ☐ 個別的な相談指導	☐ 衛生管理 ☐ 教科等における指導	
事務	☐ 教育的愛情 使命感 責任感 ☐ 社会性 コミュニケーション力 ☐ 組織マネジメント ☐ 財務	☐ 倫理観 コンプライアンス ☐ 学び続ける意欲 探究心 ☐ 総務 ☐ 共同実施の運営のために必要なマネジメント力	
主催者	☐ 国(準ずる含むNITS等) ☐ 県 ☐ 市町教育委員会 0文字 ☐ その他 0文字	・いずれか1つを選択 ・市町等教育委員会、その他の場合は主催者名を入力(50文字以内)	
振り返り・ 気づき	0文字	・200字まで 【記入内容について】 ・複数年度に渡る研修については、1番はじめに記入する。 ・研修の振り返りや気づきを記入する。	

確認画面に進む

9

3 研修講座について

三重県総合教育センターで実施する研修には、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修、管理職研修など、経験年数や職務に応じて全員が必ず受講しなければならない研修[基本研修<法定・悉皆研修>]と教職員自らの専門性を高めるため、主体的に希望して受講する研修[専門研修]があります。

いずれの研修（研修講座）も、個々の資質・能力を向上させるとともに、各所属校における教育活動を充実させることを目的としています。事前に研修の意義や内容をよく理解し、学校における実践に生かしてください。（三重県総合教育センターWeb ページの「1 研修講座」等で確認できます。）

（1）申込み方法

手順1：三重県総合教育センターWeb ページ（<https://www.mpec.jp/>）を開きます。

手順2：希望する研修講座の申込みボタン（受付中）をクリックします。

手順3：「学校ID」「学校パスワード」「職員番号」を入力して認証ボタンをクリックします。

*「学校ID」は学校番号です。「学校パスワード」の初期値は、4月中旬頃、各学校宛てに文書を発送しています。

手順4：登録画面が表示されますので、必要事項を入力・選択し、確認後、登録してください。

1 研修講座	
01 基本研修（初任研など）	
基本研修（初任研など）	
講座番号	A0102
講座名	【集合・遠隔】第2回初任者研修（特別支援学校）
サブタイトル	学習指導要領と教育課程 キャリア教育
実施日時	令和05/03/ 10:00～12:00 県総合教育センター（津市大谷町12番地） 令和05/03/ 10:10～ 令和05/03/0 ~11:50 令和05/03/0
申込み人数/定員	1 / 21
学校コード	999990
学校名	テスト小学校
学校電話番号	
職名	教諭
名前	職員 次郎
担当教科 又は学年・分掌等	
備考	(20文字まで) 名前等の変更がありましたら、備考欄に記入してください。
受講方法	☐ 集合 ☐ 遠隔
※申込みの講座を基本研修として受講する場合、以下を入力してください。	
対象研修	
回数	第 回 第 回 第 回 第 回
対象年度 (経験者研修のみ)	令和 年度

※受講方法【集合・遠隔】の画面イメージ

(2) 教職員の資質向上を図るための研修体系

ライフ ステージ	第1ステージ ＜基礎研成期＞	第2ステージ ＜伸長期＞	第3ステージ ＜充実期＞	第4ステージ ＜発展期＞	教頭・准校長 校長
基本研修 ＜法定・必修研修＞	【新規採用者研修】 教諭 養護教諭 栄養教諭 幼稚園教諭	【教職6年次研修】 教諭 養護教諭 栄養教諭	【中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ】 教諭※ 養護教諭 栄養教諭 幼稚園教諭		【管理職研修】 新任教頭 新任校長 【経験2～3年次研修】 校長 （トップリーダーマネジメント研修）
	【教職2～3年次研修】 教諭		【主幹教諭等研修】 新任主幹教諭※ 新任指導教諭※		
	【事務職員主事研修】 小中学校事務職員	【事務職員主任研修】 小中学校事務職員	【事務職員主査研修】 小中学校事務職員	【事務職員主幹研修】 【事務職員総括主幹研修】 【事務の共同実施リーダー研修】 小中学校事務職員	
専門研修	【テーマ研修】 乳幼児教育研修				
	【テーマ研修】 多文化共生教育研修 環境教育研修 キャリア教育研修 【教育相談研修】 教育相談ベーシック研修				
	【テーマ研修】 学級経営研修				
	【教科等研修】 教科等に関する研修 授業改善のための研修（県立学校教科教育研究会との連携） 【テーマ研修】 自己肯定感の涵養につながる研修 【情報教育研修】 情報教育研修 教員 ICT 活用地域研修 放課後 ICT 活用研修 【教育相談研修】 教育相談地域支援研修				
	【テーマ研修】 人権教育研修 特別支援教育研修 生徒指導研修				
		【教育相談研修】 教育相談リーダー育成研修※			
		【教育相談研修】 教育相談ステップアップ研修			
		【教育相談研修】 ケース・カンファレンス			
	【職務・職能研修】 養護教諭研修 学校給食栄養管理者研修 学校給食関係職員研修 実習助手研修 学校事務職員研修 司書・司書教諭研修 校務担当職員研修 指導教諭研修 管理職研修				
		【学校マネジメント研修】 学校組織マネジメントリーダー育成研修※ 【校内研修推進研修】 三重の次世代リーダー育成研修※ 授業研究推進リーダー育成研修※			【学校マネジメント研修】 三重の教育談義
組織力 学校運営 研修					
支援 指導力 研修	【指導力支援研修】 スキルアップ研修				
	【指導力支援研修】 教員フォローアップ研修				
オンデマンド型研修：ネットDE研修、見逃し配信					
派遣研修：新教育大学等大学院教員派遣、大学等教員長期派遣、発達障がい児支援のための人材育成研修、社会体験研修、教職員等中央研修、県外研修（独立行政法人教職員支援機構等が主催する研修）					
出前研修：授業研究推進出前研修、学校マネジメント出前研修					
支援事業：子どもたちの自己肯定感を涵養する授業づくり支援事業					

※ミドルリーダーマネジメント研修：ミドルリーダーのマネジメント能力の向上に向けた研修を実施し、学校運営を担う人材を育成し、組織としての教育力や課題対応力の向上を図ります。

(3) 受講に際して心がけたいこと

① 研修受講前

受講を予定している研修（研修講座）の実施要領等をよく読み、研修内容を把握するとともに、受講前に課題意識を持っておきます。

② 研修内容の活用

講義、実践発表、協議、演習などで研修した内容のうち、所属校で活用できるものは何かを明確にするよう心がけます。研修（研修講座）で使用するワークシートのほか、各自でノートなどを用意し、要点を自分なりにまとめるとよいでしょう。

研修により個人の資質・能力を向上させるとともに、校内でその成果を共有し、学校全体の教育力の向上にも役立ててください。

③ 研修終了時

研修で理論、方法、実践内容などを学んだ後、「振り返りや気づき」を登録したり、具体的にどのように学校で活用するのか「行動計画」を立てたりして、実践につなげましょう。

<研修講座受講システムに関する問い合わせ先>

研修推進課 テーマ研修班 TEL:059-226-3659

Ⅲ 校長及び教員としての資質の向上に関する指標

1 校長及び教員としての資質の向上に関する指標とは

校長及び教員が教職生活全体を俯瞰しつつ、自らの経験や職種等に応じて計画的・効果的に資質・能力の向上に努めることができるよう、各ライフステージで求められる資質・能力を示したものです。

この指標は、校長及び教員の職務に必要な資質・能力の全てを網羅しているものではなく、三重県の教職員として、特に身につけてほしい資質・能力を抽出し、整理しています。

自分が、どのライフステージにいて、どのような力を発揮する必要があるのか、次に何をめざしていけばよいのかを考え、行動するための道しるべとしてください。

2 指標の構成

(1) 対象となる学校種・職

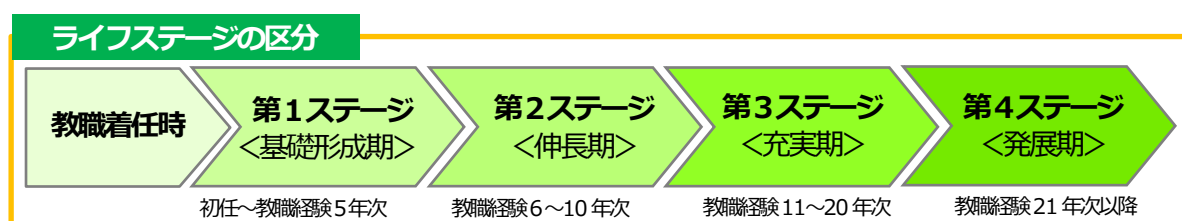
- ① **対象となる学校種**（これらの学校種に共通の指標としています）
公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校
- ② **対象となる職**
 - ア 教員としての資質の向上に関する指標
校長、教頭・准校長、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭
 - イ 教頭・准校長及び校長に必要な事項
校長、教頭・准校長
 - ウ 養護教諭に必要な事項（専門領域）
養護教諭
 - エ 栄養教諭に必要な事項（専門領域）
栄養教諭
 - オ 小中学校事務職員としての資質の向上に関する指標
主事、主任、主査、主幹、総括主幹、調整監

(2) ライフステージ＜横軸＞

① 主幹教諭、指導教諭、教諭

まず、新規に採用する教員に求められる資質・能力として「教職着任時」の指標を示しました。これは、大学が行う教員養成の目標となるものであるとともに、教員採用後の資質向上の前提となるものです。

「教職着任時」以降は、教職の経験年次に応じて、「第1ステージ（基礎形成期）」、「第2ステージ（伸長期）」、「第3ステージ（充実期）」、「第4ステージ（発展期）」の4段階としました。特に早い段階で教員としての基礎を固め、伸長することが求められることから、第1・第2ステージについては、第3・第4ステージより短い5年としています。



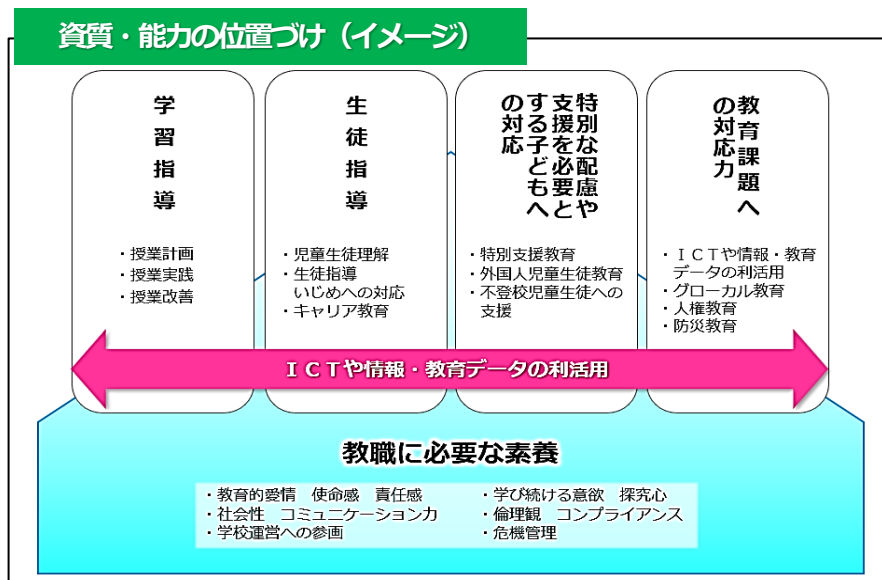
② 校長、教頭・准校長

管理職については、「校長」「教頭・准校長」に区分しています。

(3) 資質・能力にかかる項目＜縦軸＞

① 主幹教諭、指導教諭、教諭

「教職に必要な素養」「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」「教育課題への対応力」の5つに大別して示しています。



各項目は、一つひとつが独立したものではありません。

例えば、「学習指導」については、児童生徒の状況を的確に把握する「生徒指導『児童生徒理解』」等の側面と相互に関連していることを意識して資質・能力の向上を図る必要があります。

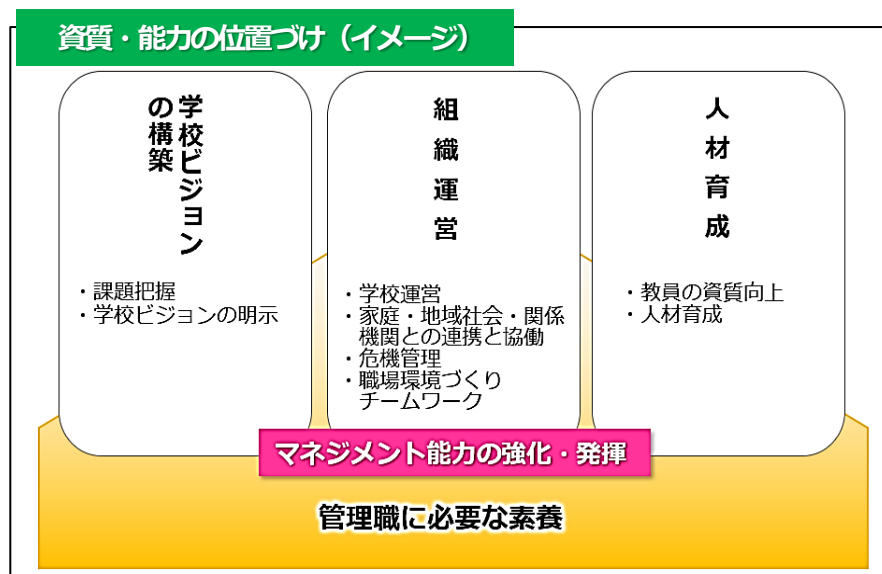


② 養護教諭、栄養教諭

養護教諭については、保健管理や健康相談等に関する項目、栄養教諭については栄養管理や衛生管理等に関する項目が専門領域として求められることから、これら項目に関する指標を、教員としての指標に追加する指標として位置づけています。

③ 校長、教頭・准校長

管理職として必要とされるマネジメント能力を高めることを重視し、「管理職に必要な素養」「学校ビジョンの構築」「組織運営」「人材育成」の4つの項目に整理して示しました。



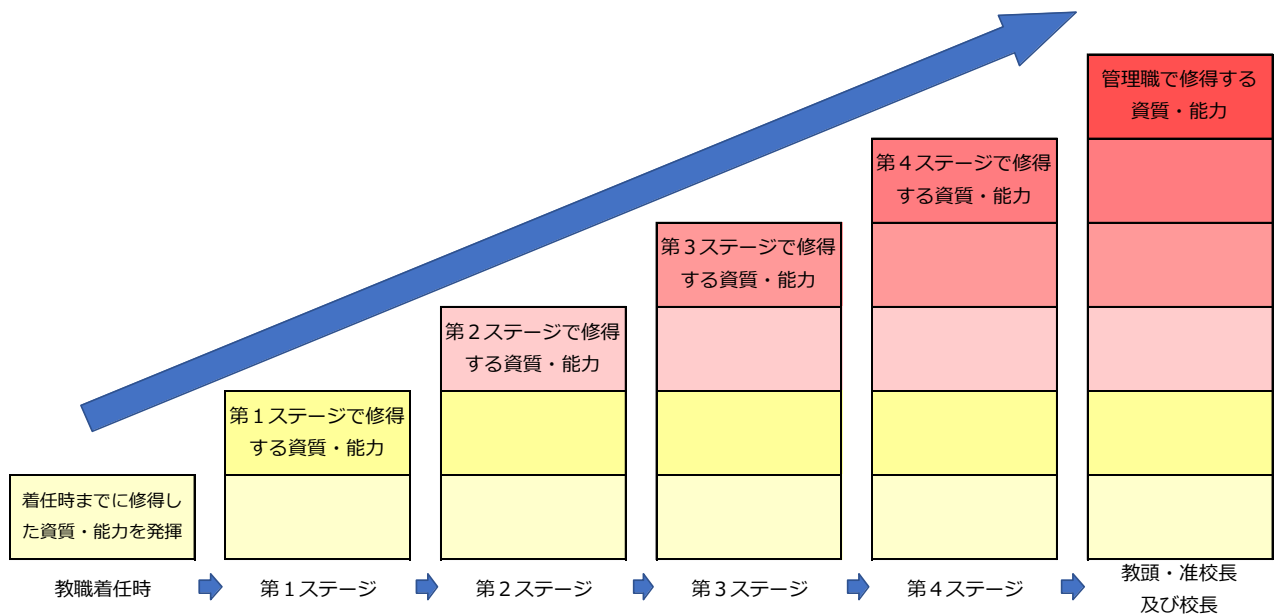
管理職に求められるマネジメント能力として、**アセスメント能力**や**ファシリテーション能力**も必要とされています。これらは、「学校ビジョンの構築」「組織運営」「人材育成」を行ううえで必要な資質・能力です。

各項目に関する指標の達成に向けて取り組むことで、マネジメント能力を強化し、その能力を発揮させます。



(4) 新たな資質・能力が積み上がるイメージ

指標は、下の図のように、ライフステージが進むにつれて、今まで修得した資質・能力の上に、新たな資質・能力が積み上がるイメージで表しています。



○小中学校事務職員については職名に応じて求められる目標を横軸に示し、縦軸には必要な素養や専門性を掲げています。

3 指標の活用 Q&A



Q1 受講奨励において、どのように指標を活用すればいいですか？

A1 受講奨励は、期首・期末面談で行われることが想定されます。その際、対話を通じて以下の活用が考えられます。

- 各ステージで求められる資質・能力を確認
- 自分の長所や個性の伸長を図っていくために必要な目標の設定
- 各ライフステージの短期・中期・長期において、資質・能力向上のビジョンを持つ



Q2 受講奨励以外に、どのように指標を活用すればいいですか？

A2 校内研修等の教職員同士の学び合いを通じた協働的な学びの機会に指標を活用することが考えられます。

例えば、研究授業において、経験年数に応じた資質・能力を高めるための目標を授業者が設定する等、授業改善の視点として活用することができます。

また、学年部会において、必要となる資質・能力を高めるために、先輩教員から若手教員に自身の経験を伝える際の視点として活用することができます。



4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(1) 教員としての資質の向上に関する指標

ライフステージ 資質・能力 にかかる項目		教職着任時 教職に就く者として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ
			初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降
			基礎形成期	伸長期	充実期	発展期
			実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教職員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。
					主幹教諭	
					関係主任と連携して管理職を補佐し、学校の管理運営に関する事項等を行う。	
					指導教諭	
					高い専門性に基づき、教員の授業力向上のための指導・助言を行う。	
教職に必要な素養	教育的愛情 使命感 責任感	○児童生徒から学び、共に成長しようとする姿勢を身につけている。	○児童生徒一人ひとりの力を最大限に引き出すことができる。 ○児童生徒の主体的な学びを支援する役割を果たすことができる。		○児童生徒一人ひとりの力を最大限に引き出し、主体的な学びを支援する役割を果たすとともに、児童生徒が自らをかけがえのない存在として感じられるよう、学校全体での教育活動を推進することができる。	
	倫理観 コンプライアンス	○教育公務員としての職務を遂行する上で必要な教育に関する基礎的な法規や理論を理解している。 ○社会の一員としての自覚と責任を持ち、自ら考え判断し、主体的に行動する力を身につけている。	○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令等の遵守を徹底できる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を理解し、自らを厳しく律することができる。		○法令等を遵守し、他の教職員の規範となるとともに、学校全体で不祥事根絶及びコンプライアンス意識の確立に向けて取り組むことができる。	
	社会性 コミュニケーション力	○他者と協調し、相手を思いやる豊かな人間性を身につけている。 ○互いの人権を尊重し、多様性を認め合う確かな人権感覚を身につけている。	○豊かな人間性と確かな人権感覚を発揮し、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築することができる。		○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、多様な意見を尊重しながら組織的に取り組むとともに、人材育成の重要性をふまえ自らの経験・スキルを率先して若手教職員に伝えることができる。 ○豊かな人間性と確かな人権感覚を発揮し、児童生徒や保護者、地域等とともに連携・協力しながら課題に対処することができる。	
	学び続ける意欲 探究心	○自らの強み・弱みを理解しようとするとともに、自己研鑽に励んでいる。	○自らの強み・弱みをふまえ、今後伸ばすべき能力、学校で果たすべき役割などを理解し、自己の資質・能力の向上に向けて主体的な学びをマネジメントすることができる。 ○学校教育を取り巻く環境や社会の変化に対応できるよう、新しい知識・技能を学び続けることができる。		○自己の置かれた状況に照らして、適切な現状把握と目標設定を行い、自らの実践を検証し改善し続けることができる。 ○学校教育を取り巻く環境や社会の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ、自律的かつ継続的に新しい知識や技能を学び続けることができる。	
	学校運営への参画	○組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	○組織の一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談を確実に行うとともに、他の教職員からの理解、協力を得ながら、自らの職務を遂行することができる。 ○学校教育目標を理解して、学級経営や教科指導を実践するとともに、学校マネジメントの意義を理解し、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、組織の中で自己の役割を果たすことができる。		○児童生徒の指導上の問題を一人で抱え込まないよう組織で対応したり、教職員間の報告・連絡・相談が円滑に行われるような職場の人間関係を構築したりして、同僚性を高めることができる。 ○学校マネジメント、カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、学校教育目標の達成、学校運営上の課題解決に向けて、中・長期的な対応策を講じることができる。	
	危機管理	○学校安全に関わる基礎的な知識を身につけているとともに、身の回りの危険を察知し、回避することができる。	○学校事故防止と安全対策等のマニュアルを理解し、教室環境や校内の安全点検を日常的に行うとともに、児童生徒の行動の観察等を行い、危機の未然防止に努めることができる。 ○危機管理に係る組織的な対応において、自己の役割を的確に果たすことができる。		○危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応に努め、学校全体の安全・防災について中心的な役割を担うことができる。 ○事故の再発防止に向け、必要な改善取組を推進できる。	
学習指導	授業計画	○学習指導要領に示された教科等の目標及び内容並びに児童生徒の実態に即した授業構想の重要性を理解している。	○児童生徒の実態をふまえ、育成を目指す資質・能力を明確にした授業を計画できる。 ○授業のねらいをふまえて教材研究を行うことができる。	○児童生徒の主体的な学び、対話的な学びを引き出す授業を計画できる。 ○授業のねらいをふまえて教材研究を行い、他の教員と共有できる。	○学校の重点課題及び児童生徒の実態や習熟度に応じた授業を計画できる。 ○教科会や学年会で教材研究を行う時間を確保するとともに、自らの専門性を生かして若手教員に指導・助言を適切に行うことができる。	○全教育課程をとらえ、他教科等の学習内容や系統性等をふまえて授業を計画できる。 ○自らの専門性や経験を生かして他の教員に適切な指導・助言を行うとともに、学校全体の授業づくりの質を高めることができる。
	授業実践	○発問、板書、教材・教具の活用等、基本的な指導技術を身につけている。 ○授業計画に沿って授業を展開できる。	○個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、多様な授業形態を取り入れる等の工夫をすることができる。 ○指導と評価の一体化に基づいて授業を実践することができる。	○指導方法や指導形態等を工夫し、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを充実させることで児童生徒の学力向上につなげることができる。	○高い専門性を身につけ、創意工夫を凝らした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。 ○若手教員の指導上の課題を捉え、自らの経験を生かして授業力向上に係る指導・助言を行うことができる。	○高い専門性と豊かな経験を生かした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。 ○他の教員への授業力を高める指導・助言を行うとともに、学校全体の授業力向上に係る取組を推進することができる。
					【指導教諭】 ○授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、他の教員の模範となる授業を自ら実践して積極的に公開するとともに、授業観察を通じて教員一人ひとりに応じた指導・助言を行うことができる。	
	授業改善	○主体的・対話的で深い学びを実現するため授業改善の必要性を理解している。	○評価規準に基づく評価を行い、一人ひとりの学習状況及び自己の授業の課題を把握することができる。 ○他の教員の良いところを取り入れて、授業改善を図ることができる。	○評価規準に基づく評価を行い、一人ひとりの学習状況及び自己の授業の課題を把握し、省察をもとにした授業改善を図ることができる。	○学習状況を多面的に評価して課題を把握し、実践的指導力の向上に努めることができる。	○学校全体の学習上の課題を把握し、授業改善を推進することができる。
					【指導教諭】 ○自校における校内研修会の企画・運営、指導・助言や指導力の向上に取り組む、研究授業等のコーディネーターとしての役割を担うことができる。	

ライフステージ 資質・能力 にかかる項目		教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
			初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降	
			基礎形成期	伸長期	充実期	発展期	
			教職に就く者として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教職員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。
関係主任と連携して管理職を補佐し、学校の管理運営に関する事項等を行う。							
指導教諭							
高い専門性に基づき、教員の授業力向上のための指導・助言を行う。							

生徒指導	児童生徒理解	○児童生徒の発達段階や個性・特性、一人ひとりの生活背景を理解することの重要性を理解している。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を理解し、受容的・共感的な態度で児童生徒に接し、信頼関係を築くことができる。	○児童生徒一人ひとりの理解に基づく信頼関係づくりを進めながら、保護者と連携することができる。	○学校全体の児童生徒の状況や課題を多面的に把握し、教職員相互の理解を促進するとともに、保護者、関係機関と連携を図ることができる。	○学校全体の児童生徒の状況や課題を多面的に把握し、保護者、関係機関と連携を図りながら、組織的・計画的に児童生徒の成長を促している。
	生徒指導 いじめへの対応	○実態に即して個に応じた指導や集団への指導の必要性を理解している。 ○いじめの防止、早期発見の必要性を理解している。	○日常的に児童生徒の生活状況を把握するとともに、児童生徒の発するサインを見逃すことなく、問題行動等を早期に発見し、他の教職員に報告・連絡・相談しながら迅速に対応することができる。 ○いじめの防止や早期発見のために、児童生徒の発するサインを察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職の指示のもと、他の教職員と連携・協力しながら組織的な対応に努めることができる。		○児童生徒の生活状況や心情を理解し、問題行動等の背景・原因を的確に把握して必要な指導を行うことができる。また、生徒指導上の問題解決に向け具体的な方策を立て、組織的・系統的に取り組むことができる。 ○いじめの防止や早期発見のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職をはじめ、保護者、関係機関と連携を図り、組織的な取組を推進することができる。	
	キャリア教育	○社会の動向やニーズに関心をもち、キャリア教育の重要性を理解している。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につける学習を展開することができる。		○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるための指導体制の整備を行うことができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制や実践を支える運営体制の整備を行うことができる。
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育	○特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の考え方や児童生徒が互いを尊重し、共に学ぶことの大切さを理解している。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態を把握し、適切な指導・支援を行うことができる。 ○他の教職員と連携・協力しながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態を把握し、指導内容や指導方法を工夫して適切な指導・支援を行うことができる。 ○教職員間の共通理解を図りながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態に応じた指導・支援を、地域や関係機関と連携し、適切に行うことができる。 ○教職員間の共通理解を深めながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けて、保護者や地域と連携し、学校全体で取り組めるよう教職員に働きかけることができる。 ○児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を蓄積し、他の教職員への継承を進めることができる。
	外国人児童生徒教育	○日本語指導が必要な児童生徒に対する指導や保護者への支援の必要性を理解している。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、他の教職員と連携・協力しながら、適切な指導・支援を行うことができる。		○日本語指導が必要な児童生徒に対して、地域や関係機関と連携し、適切な指導・支援を行うとともに、校内の指導・支援体制づくりを推進することができる。	
	不登校児童生徒への支援	○児童生徒が安心して意欲的に学ぶことができる学級づくりや不登校の初期対応の必要性を理解している。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、他の教職員に報告・相談しながら不登校支援を行うことができる。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、他の教職員と連携・協力しながら、子どもや保護者の気持ちに寄り添った不登校支援を行うことができる。	○保護者や関係機関と連携しながら、個々の状況に応じた支援を組織的・計画的に進めることができる。	○保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に対して適切な指導・助言を行い、組織的な対応を推進することができる。
教育課題への対応力	ICTや情報・教育データの利活用	○学校におけるICTの活用の意義を理解している。 ○情報セキュリティの基礎的な知識を身につけている。	○児童生徒にどのような力をつけるのかを考え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて重要なツールの一つとしてICTを活用することができる。 ○児童生徒の発達段階や実態に応じて、デジタル・シティズンシップの考え方にに基づき、情報モラルや情報セキュリティを含めた情報活用能力を育むための学習を行うことができる。	○児童生徒の学習に関するデータ（スタディ・ログ等）や生活に関するデータを把握し、個に応じた指導・支援を行うことができる。 ○児童生徒の人権を尊重し、個人情報やデータの扱い方を十分に理解して取り扱うことができる。また、インターネット上のいじめ等の未然防止や指導方法について研鑽を深めることができる。	○学校内に蓄積されている様々なデータを集約、分析するとともに、その結果を他の教職員と共有し、学校全体の課題解決に向けた取組を推進することができる。 ○教職員が情報セキュリティを確保するためのルールを提案する等、積極的に改善を図ることができる。	
	グローバル教育	○豊かな国際感覚を持つことや、郷土を愛することの大切さを理解している。 ○多文化共生に係る学習の大切さを理解している。	○豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開することができる。 ○多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。		○地域や関係機関と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開し、指導方法について他の教職員に適切な指導・助言を行うことができる。 ○多文化共生に係る学校全体の取組において、中心的な役割を果たすことができる。	
	人権教育	○差別を解消するための責務を自覚し、人権尊重の理念や人権教育の意義について理解している。	○三重県人権教育基本方針に基づき、人権教育カリキュラムに沿って人権尊重の意識と実践力を育む教育を児童生徒や地域の実態に応じて展開することができる。		○校内や家庭、地域との連携による推進体制の中核を担い、教育活動全体を通じて人権教育が行われるよう、人権教育カリキュラムを適切に運用し、組織的な取組を積極的に推進することができる。	
	防災教育	○防災教育の重要性を理解している。	○三重県の地理的特性をふまえた防災・減災に関する理解を深め、児童生徒が自らの命を守るために必要な知識・技能を身につけさせる指導を行うことができる。		○児童生徒が自らの命を守るために必要な知識・技能を身につけ、地域の支援者として行動できるよう、家庭や地域と連携した防災・減災に関する取組を推進することができる。	

※「校長及び教員としての資質の向上に関する指標（令和5年3月改定）」は下記のURL、QRコードから閲覧できます。

URL： https://www.mpec.jp/user/2021/kyo_02.pdf

QRコード：



（２）教頭・准校長及び校長に必要な事項

職 階 資質・能力 にかかる項目		教頭・准校長	校長
		マネジメント力の強化	マネジメント力の発揮
		学校マネジメントにおける教頭・准校長の役割を理解し、学校教育目標の達成に向けて、教職員の共通理解を図るとともに保護者や地域等との連携・協働を進めながら、校長を補佐し学校改善を推進する。	学校マネジメントによって教職員の意識改革を図り、学校組織のリーダーとしての確な判断や決断をしながら、学校を活性化し、魅力ある学校づくりをする。
管理職に必要な素養		○明確な教育理念と見識を持ち、児童生徒のよりよい成長をめざして諸課題に前向きに取り組む組織づくりを進めることができる。 ○管理職としての役割を自覚し、使命感と責任感を持って、保護者や地域等との信頼関係を築くことができる。 ○教職員のキャリアやメンタルヘルス等を的確に把握し、教職員の職能成長と学校活性化に努めることができる。 ○コンプライアンスやリスクマネジメントに対する意識を学校に定着させるとともに、教職員が安心して職務遂行ができる風土を醸成することができる。	
学 校 ビ ジ ヨ ン の 構 築	課題把握	○情報収集を的確に行い、それを活用できるように準備するとともに、学校評価を適切に行うことで学校活性化に努めることができる。	○情報を収集し、それを的確に活用するとともに、学校評価等を学校経営に生かし、学校の弱みを把握し、強みを生かした学校の活性化に努めることができる。
	学校ビジョンの明示	○校長の学校ビジョンを十分に理解し分かりやすく教職員に伝え、教職員の共通理解のもと、組織をまとめ動かすことができる。	○社会の動向や国、県、市町の教育施策及び学校の実態や課題をふまえ、長期的な視点に立ち、魅力ある学校づくりを目指した具体的な学校ビジョンを立てることができる。また、それを教職員や保護者、地域等に明確に示すことができる。
組 織 運 営	学校運営	○校長が示す学校経営方針や学校教育目標の達成に向けて、必要な人的・物的な資源を活用するとともに、教育活動の状況を的確に把握しながら、評価及び改善を推進することができる。	○学校経営方針や学校教育目標の達成に向けて、必要な人的・物的な資源を活用するとともに、教育活動の状況を的確に把握しながら、評価及び改善を行うことができる。
	家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	○地域等のニーズを把握するための情報収集を行い、教職員が多様な専門性を持つ地域人材等と協働していくことができるように必要な調整をすることができる。	○地域等のニーズを把握し、教職員が多様な専門性を持つ地域人材等と協働していく学校風土を醸成することができる。
	危機管理	○日常から学校事故や教職員の不祥事の未然防止に対する教職員への指導・助言を行い、危機発生時には、正確な情報を把握し、関係機関等との連絡調整を図ることができる。 ○校長が示す対応方針に沿って教職員に的確な指示を行うとともに、組織的に対処できるよう校長を補佐することができる。	○安全な環境での教育活動が展開されるよう、日常から学校の安全管理の徹底と危機管理体制を構築することができる。 ○危機発生時には、児童生徒の安全確保を最優先して、正確な情報に基づき対応方針を明確に示し、迅速かつ組織的に対応することができる。
	職場環境づくり チームワーク	○教職員が心身ともに健康な状態で業務を遂行できるよう、職場環境や業務改善及び意識の改革を図り、積極的に教職員へ働きかけることができる。 ○学校教育目標の実現に向け、教職員の能力や適性が発揮されるよう、組織の主任等に適切に指示を出し、組織の活性化を図ることができる。	○職場環境や業務の改善及び意識の改革を図り、教職員が心身ともに健康な状態で業務を遂行できるよう、組織運営を責任を持って行うことができる。 ○学校教育目標の実現に向け、校内組織の再編成や適正な人事配置を行い、学校運営がチームとして機能するよう学校体制を構築することができる。
人 材 育 成	教員の資質向上	○教職員が主体的に取り組むことができるよう、校内研修を企画・運営すること等、教職員の教育活動をリードし組織的な活動となるように調整することができる。	○教職員のロールモデルとしての役割を自覚し、教育活動をリードするとともに、教職員との対話を通して資質向上への意欲づけや意識改革、研修の受講奨励に努めている。
	人材育成	○教職員一人ひとりのキャリアや資質・能力等を把握し、ライフステージに応じた指導・助言を行い、人材育成につなげることができる。	○教職員一人ひとりのキャリアや資質・能力等を把握し、ライフステージに応じて研修履歴等を活用した指導・助言を行い、人材育成につなげることができる。

(3) 養護教諭に必要な事項（専門領域）

ライフステージ 資質・能力 にかかる項目		教職着任時 養護教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ
			初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降
			基礎形成期	伸長期	充実期	発展期
			実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。
養護教諭に必要な事項（専門領域）	保健管理	○学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を身につけている。	○児童生徒の健康課題を把握し、教職員や関係機関と相談しながら対応にあたっている。	○児童生徒の健康課題を的確に把握し、教職員や関係機関と連携して対応にあたっている。	○保健管理に係る高い専門性を身につけ、児童生徒の心身の健康課題の解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	○保健管理に係る高い専門性を生かし、学校、家庭、地域、関係機関を連携させて、的確に対応する組織づくりを行うことができる。
	保健教育	○保健教育に係る専門性や学習指導要領に関する基礎的な知識を有している。	○児童生徒の実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、専門性を生かした保健教育を行うことができる。	○児童生徒の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を実践するとともに、評価・改善を図ることができる。	○組織的な保健教育を推進するために、家庭や地域の実態に即して進めるとともに、連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○教職員や地域等、校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、養護教諭の視点を生かして教職員の実践に対し、指導・助言を行うことができる。
	保健室経営	○保健室経営における養護教諭の役割を理解するとともに、保健室経営計画を立案する知識を有している。	○学校教育目標をふまえ、児童生徒の健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、計画に沿って実践を行うことができる。	○学校教育目標をふまえ、児童生徒の健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、教職員と連携して組織的な保健室経営を行うことができる。	○学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画に沿って実践するとともに、評価・改善を図りながら効果的に保健室経営を推進することができる。	○学校経営の観点に立って保健室経営計画を作成・実施し、学校、家庭、地域の連携のもと、計画的・組織的に保健室経営を推進することができる。
	健康相談	○学校保健安全法における健康相談の位置づけや、健康相談の基本的プロセス（課題の背景把握、支援方針・支援方法の検討、校内外の連携など）を理解している。	○児童生徒の健康課題を捉え、教職員や学校医等の専門職、保護者と連携を図りながら、適切な健康相談を実施することができる。	○児童生徒の健康課題を的確に捉え、教職員や学校医等の専門職、保護者と連携し、校内の支援体制づくりを行うことができる。	○健康相談に係る高い専門性を身につけ、児童生徒の支援体制の充実を図るために、校内及び地域関係機関との連携におけるコーディネーターとしての役割を果たしている。	○学校内及び地域関係機関との連携におけるコーディネーターとしての役割を果たすとともに、組織的な児童生徒の支援体制づくりを行うことができる。
		○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の相談を受けることができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応を行うことができる。		○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応を行うことができる。	
	保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する校内外の協力体制の重要性を理解している。	○校内の保健組織活動の企画・運営に参画することができる。	○校内の保健組織活動において、中心的な役割を担い、組織活動の改善を図ることができる。	○保健組織活動を地域ぐるみの取組につなげるため、近隣の学校や関係機関との連携を図ることができる。	○広域的な保健組織活動の活性化に向けて、教職員や保護者、関係機関との連携を図り、指導的役割を担うことができる。

（４）栄養教諭に必要な事項（専門領域）

ライフステージ 資質・能力 にかかる項目			教職着任時	第 1 ステージ	第 2 ステージ	第 3 ステージ	第 4 ステージ
				初任～教職経験 5 年次	教職経験 6 年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降
				基礎形成期	伸長期	充実期	発展期
				栄養教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。
栄養教諭に必要な事項（専門領域）	給食管理	栄養管理（献立作成）	○学校給食摂取基準を理解し、栄養管理、献立作成に関する基礎的な知識・技能を有している。	○学校給食摂取基準に基づき、食事状況調査、嗜好調査、残食量調査等の結果をふまえた献立を作成することができる。	○学校給食摂取基準に基づく栄養管理に加え、郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら、献立を作成することができる。	○栄養教諭の専門性を生かして、児童生徒の身体状況を考慮し、地域性に応じた献立作成及び栄養管理を行うことができる。	○栄養管理や献立作成に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。
		衛生管理	○学校給食衛生管理基準を理解し、衛生管理に関する基礎的な知識・技能を有している。	○学校給食衛生管理基準に基づき、日常的に施設設備、食品を管理するとともに、調理従事者と連携し適切な衛生管理のための指導・助言を行うことができる。	○学校給食衛生管理基準についての理解を深め、日常的な衛生管理に加えて、学校給食の衛生管理について教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。	○衛生管理に関する高い専門性を身につけ、日常的に適切な衛生管理を行うとともに、食品納入業者等、地域の学校給食関係者に対しても必要な指導・助言を行うことができる。	○学校給食における衛生管理に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。
	食に関する指導	給食の時間の指導	○給食の時間における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。	○給食の時間における食に関する指導のための資料を学級担任に提供し、連携して児童生徒への指導を行うことができる。	○給食と教科等との関連を考慮し、学級担任が年間をとおして食に関する指導が行えるよう支援するとともに、連携して児童生徒への指導を行うことができる。	○学級担任が献立計画を活用し、教科等と関連させた食に関する指導を継続的に行えるよう支援するとともに、食に関する年間指導計画を中心となって策定することができる。	○学級担任が献立計画や食に関する年間指導計画に基づいて、教科等と関連させた指導を継続的・効果的に行うための指導・助言を行うことができる。
		教科等における指導	○教科等における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。	○学級担任と連携し、栄養教諭の専門性を生かした児童生徒への指導を行うことができる。	○学校教育目標や地域性をふまえ、栄養教諭の専門性を活かして、家庭、地域と連携した食育を推進することができる。	○栄養教諭の専門性を生かし、食育推進のために教職員や地域など校内外の連携・調整の要としての役割を担うことができる。	○地域において、校種毎の学習内容に応じた系統的な食育を推進するため、中心となって連携・調整を行うとともに、他の栄養教諭に対し、指導・助言を行うことができる。
		個別的な相談指導	○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の食に関して個別的な相談を行うことの重要性を理解している。	○食に関する健康課題や相談指導に必要なエビデンスについての最新情報の収集に努め、児童生徒の課題を的確につかみ、医療機関等と連携を図りながら教職員とともに、児童生徒に対する指導・助言や家庭への支援や働きかけを行うことができる。		○児童生徒の食に関する健康課題を総合的に判断し、児童生徒の課題に応じて養護教諭や医療機関等と連携を図りながら指導・助言をするとともに、栄養教諭の専門性を生かして教職員に対しても指導的役割を担うことができる。	

5 小中学校事務職員としての資質の向上に関する指標

ライフステージに 応じて 求められる役割		第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ		第4ステージ				
		主事		主任		主査		主幹		総括主幹	調整監	
		基礎形成期		伸長期		充実期		発展・深化期				
		教育の目的、学校の特性及び役割を理解したうえで、学校事務の基本的な考え方や基礎的な知識を実践力につなげ、学校経営に参画する。		基本的技能や知識をもとに実践力を高めるとともに、課題解決能力をつけ、学校経営に参画する。		専門分野における高い実践力と連携・協働の力を持って、学校経営に参画する。		連絡・調整・指導ができる能力を身につけ、高度な専門性と実践力を持って、学校経営に参画する。		連絡・調整・指導ができる能力と、より高度な専門性と実践力を備え、組織全体を俯瞰し、校長を補佐する職として学校経営に参画する。	高い見識と実績を持ち、組織全体を俯瞰する力を備え、広域的な地域の学校事務を統括する。県内全域の事務職員の人材育成を担い、各地域の学校経営を支援する。	
資質・能力 にかかる 項目	教育的愛情 使命感 責任感	○児童生徒への深い愛情と職への誇り、高い志と使命感、責任感を持って、職務を遂行できる。		○児童生徒への深い愛情と職への誇り、高い志と使命感、責任感を持って、職務を遂行するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。		○児童生徒への深い愛情と職への誇り、高い志と使命感、責任感を持って、職務を遂行するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。		○児童生徒への深い愛情と、職への誇りを持って、教職員の行動の模範となる。また、高い志と使命感、責任感を持って組織の中核的な役割を果たすことができる。				
	倫理観 コンプライアンス	○小中学校事務職員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の重要性を理解し、遵守を徹底している。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を理解し、自らを厳しく律することができる。		○小中学校事務職員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を自覚し、自らを厳しく律するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。		○小中学校事務職員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を自覚し、自らを厳しく律するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。		○高い倫理観を持ち、コンプライアンスを常に意識して自らを厳しく律し、児童生徒や教職員の模範となる行動をとることにより、信頼される学校づくりを進めることができる。				
	社会性 コミュニケーション力	○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築できる。 ○相手の思いを受け止めるとともに、自分の考えを適切に伝えることができ、組織の一員として行動できる。		○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。 ○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織づくりに貢献できる。		○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。 ○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織づくりに貢献できる。		○高い人権感覚を有し、保護者をはじめとした関係者、関係機関と誠意を持って対話し、信頼関係を築ける。 ○情報共有を大切にして、教職員間の信頼関係を深め、人間関係が円滑で働きやすい職場づくりを進めることができる。				
	学び続ける意欲 探究心	○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員と共に学び合い、職務の改善に活かすことができる。		○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校組織の中で互いに学び合う環境の醸成に寄与することができる。		○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校組織の中で互いに学び合う環境の醸成に寄与することができる。		○教育に関する高い見識と広い視野を持ち、常に自己を振り返り、力量を高めるために継続的に研究や研鑽に励み、学校組織の中で互いに学び合う環境を醸成することができる。				
小 中 学 校 事 務 職 員 と し て 必 要 な 専 門 性	組織マネジメント	(＊1) 自己管理力	(＊1) 組織参画力	(＊1) 企画・提案力	(＊1) 地域連携・協働力							
		（自己のマネジメント） ○自己の現状を客観的に把握し、めざしたい事務職員像を描き、自己課題を把握できる。 ○基礎的な実務能力をつけ、標準的職務通知（＊2）が示す職務を計画的に遂行できる。 ○求められる役割を理解し、他の教職員からの指導・助言を受け、職務を遂行できる。 ○業務の簡素化や効率化を意識し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できる。 （人のマネジメント） ○それぞれの職種の役割や働き方、特性を理解できる。 （組織のマネジメント） ○学校経営に必要な情報を収集することができる。 （環境のマネジメント） ○自己の役割を理解したうえで、日常的な関わりをとおして、保護者や地域、関係機関への関心をもち、必要な連絡ができる。	（自己のマネジメント） ○自己の課題の原因を分析し、改善できる。 （人のマネジメント） ○主体的に職務を遂行するとともに、課題を共有できる環境づくりに努め、教職員と互いに学び合う関係を築くことができる。 ○業務の簡素化や効率化について、他の教職員との対話をとおして自己の業務改善を考え、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できる。 ○それぞれの職種の果たす役割を理解したうえで、連携できる。 （組織のマネジメント） ○収集した情報を適切に管理するとともに、教育課程と情報を結び付け活用できる。 ○学校の業務全体を把握し、仕事の再配分も含めた時間管理ができる。 （環境のマネジメント） ○保護者や地域、関係機関への関心を高め、連携・協働を意識することができる。	（自己のマネジメント） ○学校教育目標の達成に向け、事務職員としてなすべきことを明確にし、実践を積み上げることができる。 （人のマネジメント） ○学年主任や分掌主任と連携・協働し、教職員が互いに学び合い、持てる力を発揮できる環境づくりに関わることができる。 ○業務の簡素化や効率化を図るための教職員間の対話を促進し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できるよう教職員が協力し合える組織風土づくりを担うことができる。 （組織のマネジメント） ○収集した情報を分析し、教育活動の推進に活用できる情報として発信できる。 ○効率的かつ効果的な業務執行のためのシステムづくりなど、タイムマネジメントの観点をもって業務改善に向けた改善策を提案できる。 （環境のマネジメント） ○人材や情報資源を活用するための連絡・調整ができる。	○教頭や主幹教諭と連携するなかで、学年や分掌間の活動を把握し、活動を方向付けることができる。 ○教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいを持って職務に専念できるよう、教職員の勤務時間等を把握し、相談に応じることができる。 ○学校内外の経営資源を把握し、教育活動の推進に資するものとして積極的な情報提供を行い、その活用の際に連絡・調整をすることができる。 ○中学校区を視野に入れた家庭、地域の連携・協働について、関係機関を含めた仕組みづくりに関わることができる。							
		総務	○法規の基礎的知識を持ち、学校の全ての活動は法規に基づいて行われていることを理解できる。 ○教職員に関する事務を適切に遂行できる。 ○学校の文書を情報として適切に管理できる。 ○危機管理意識を持ち、管理職の指導・助言を受けながら、安全確保対策を講じることができる。 ○危機発生時には、児童生徒の安全確保を第一に、対応方針に沿って行動できる。	○法規を解釈し、コンプライアンス徹底のための発信ができる。 ○危機管理意識を持ち、周囲と相談・確認しながら、迅速かつ的確な安全確保対策を講じることができる。	○法規に関する専門的な知識を持って、コンプライアンス徹底のための体制づくりが提案できる。 ○危機を予測した未然防止のための取組と、学校環境において必要な改善及び事故の再発防止のための取組を提案できる。	○法規に関する専門的で確かな知識を持って、学校経営に活用することができる。 ○危機の未然防止のための学校環境の必要な改善及び事故の再発防止のための取組の中核的役割を担うことができる。						
			財務	○予算の執行計画を立案し、適切な執行管理ができる。 ○校内予算委員会の意義を理解し、開催することができる。 ○全ての子どもたちの学びを保障するための制度が理解でき、情報を提供できる。 ○児童生徒の生活実態を把握できる。	○カリキュラム・マネジメントの観点から教育課程と関連させた執行計画を立案し、財務運営ができる。 ○校内予算委員会を主宰できる。 ○児童生徒の生活実態を把握し、教職員の相談に応じて、連絡・調整ができる。	○カリキュラム・マネジメントの観点で、教頭および主幹教諭と連携し、教育活動の活性化に向けた財務の企画・立案・調整ができる。 ○児童生徒の生活実態を把握し、保護者及び教職員の相談に応じることができ、連絡・調整ができる。 ○全ての子どもたちの学びを保障するための学習環境の見直しに関する提案ができる。	○カリキュラム・マネジメントを主体的に推進する位置に立ち、財務全般を担うことができる。 ○全ての子どもたちの学びを保障するための学習環境の見直しを中心になって行うことができる。 ○カリキュラム・マネジメントを推進するにあたり、中・長期的な視点を持って、成果を検証し、財務の中心的な役割を果たすことができる。 ○全ての子どもたちの学びを保障するための学習環境の見直しに関し、教育委員会、その他関係機関を含めた組織への提案と活動の調整ができる。					
共同学校事務室の運営のために必要なマネジメント力		○共同学校事務室において担当業務の基礎基盤を固めることができる。	○共同学校事務室において担当業務を推進することができる。	○共同学校事務室における担当業務を統括することができる。 ○共同学校事務室活動の活性化のための改善策を提案することができる。 ○共同学校事務室のリーダー等を補佐できる。	○共同学校事務室の統括・調整ができる。 ○共同学校事務室内の事務職員の指導・育成ができる。							
		○市町内の共同学校事務室活動の統括、関係機関との調整ができる。 ○共同学校事務室内の事務職員の指導・育成ができる。							○勤務校を所管する自治体教育委員会及び周辺自治体教育委員会が所管する共同学校事務室の活動を統括し、関係機関との調整を行うことができる。 ○県内全域の事務職員の人材育成及び共同学校事務室を活用した学校事務の推進について意見具申ができる。 ○共同学校事務室のリーダー等の指導・育成ができる。			

(＊1) 各ステージで特に重視してつけていきたい力を示す。ただし、どのステージであっても4つの力が必要であり、そのステージに応じた力が発揮できるようにそれぞれの力を高めていくことが必要である。本指標では、次のような力として考える。

- ・自己管理力：目標に向かって、自分の仕事に対する向き合い方や仕事の進め方をコントロールできる力
- ・組織参画力：学校の中の教職員一人ひとり及び学年、分掌など小さな単位のチームと連携して仕事を進めていく力
- ・企画・提案力：何のために何をするかという根拠があり、めざす姿を明確かつ魅力的なものとして示すことができる力
- ・地域連携・協働力：中学校区を視野に入れて、校長の示すビジョン達成のために、関係機関や人々を繋ぎ、協働できるようにする力

(＊2) 標準的職務通知：令和5年6月5日教委第20-79号三重県教育委員会教育長通知 公立小中学校事務職員の標準的職務の改正について（通知）

URL：https://www.mpec.jp/user/2021/jimu_02.pdf

二次元コード：



Ⅳ 各ライフステージの資質・能力にかかる項目に対応した研修

「指標」に示された各ライフステージに、県教育委員会各課が実施する研修講座が、それぞれの資質・能力にかかる項目に対応しているかを示しています。

教職員が自らの資質・能力を計画的に高めていく際に活用するとともに、管理職においても、当該教職員に求められる資質・能力を意識させながら、人材育成に取り組んでください。

＜活用事例＞

- ① 指標から自らのライフステージで求められる資質・能力を確かめる
- ② 求められる資質・能力を高めるための研修を次ページの「対応する研修講座」から調べる
- ③ 研修が受講できるように計画を立てる

○次ページ以降の表の「対応する研修講座」の表記について

- ・初任者研修や中堅教諭等資質向上研修等の法定・悉皆研修^{※1}と希望研修等を分けて示しています。
- ・【 】がない研修講座は、研修企画・支援課及び研修推進課が実施する研修講座です。研修の詳細は、三重県総合教育センターWebページ (<https://www.mpec.jp/>) で確認してください。
- ・【 】のある研修講座は、上記以外の課が実施する研修講座です。【 】でその研修講座の担当課^{※2}を、() で対象校種^{※3}を示しています。研修の詳細は、各担当課から随時案内があります。

※1 法定・悉皆研修

経験年数やその職務に応じて全員が必ず受けなければならない研修

※2 担当課

【小中】→ 小中学校教育課	【学力】→ 学力向上推進プロジェクトチーム
【特支】→ 特別支援教育課	【生指】→ 生徒指導課
【人権】→ 人権教育課	【保体】→ 保健体育課
【総務】→ 教育総務課	【高教】→ 高校教育課
【福給】→ 福利給与課	

※3 対象校種

(小) → 小学校、義務教育学校前期課程	(中) → 中学校、義務教育学校後期課程
(高) → 高等学校	(特) → 特別支援学校
() なし → 全ての校種	

1【第1ステージ：基礎形成期】初任～教職経験5年次

実践力を磨き、基礎・基盤を固める

資質・能力にかかる項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
教職に必要な素養	教育的愛情 使命感 責任感	・初任者研修（第1、8、9、12～15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第1回） ・新規採用栄養教諭研修（第1回） ・新規採用実習助手研修（第1回）	・児童生徒の自主性を伸ばすづくり・学校づくり
	倫理観 コンプライアンス	・初任者研修（第1回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第1回） ・新規採用栄養教諭研修（第1回） ・新規採用実習助手研修（第1回） ・常勤講師等研修（第1回）	
	社会性 コミュニケーション力	・初任者研修（第2、4～9、12～15回） ・教職2～3年次研修（第1、2、4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第4、7、9回） ・新規採用栄養教諭研修（第3、4、6回） ・三重大学教職大学院連携講座1 ・教職2～3年次教員のための生徒指導力アップ研修	・スキルアップ研修「人間関係づくりの基本を学ぶ」～良好な関係を築く思いの伝え方～
	学び続ける意欲 探究心	・初任者研修（第1、4～6、9、12～15回） ・教職2～3年次研修（第3～7回） ・新規採用養護教諭研修（第1、11回） ・新規採用栄養教諭研修（第1、11回） ・新規採用実習助手研修（第1回） ・県立特別支援学校訪問 ・専門高校訪問1、2 ・附属小学校訪問 ・附属中学校訪問 ・附属特別支援学校訪問 ・附属幼稚園訪問 ・三重大学教職大学院連携講座1、2、3	
	学校運営への参画	・初任者研修（第3、7、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第4回） ・新規採用栄養教諭研修（第4回）	
	危機管理	・初任者研修（第7、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第4、6、7、11回） ・新規採用栄養教諭研修（第6、7回） ・常勤講師等研修（第2回）	・養護教諭職務推進研修1 【生指】 ・交通安全教室講習会（中・特） ・防犯教室講習会（小・高・特）
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善	・初任者研修（第1、2、4～6、10、14、15回） ・教職2～3年次研修（第3～7回） ・新規採用養護教諭研修（第1回） ・新規採用栄養教諭研修（第1、7、9回） ・新規採用実習助手研修（第1、2回） ・常勤講師等研修（第1回） ・附属小学校訪問	・汎用的な『読む力』を育む授業づくり研修 ・児童の主体的な学びを実現する算数授業づくり基礎研修（小学校） ・生徒の深い学びを実現する数学授業づくり研修（中学校） ・生徒が主体的に探究する数学授業づくり研修（高等学校） ・問題解決の過程を重視した小学校理科授業づくり研修 ・小学校理科授業づくり地域別研修 ・生徒の科学的に探究する力を育む中学校理科授業づくり研修

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善	・附属中学校訪問 ・附属特別支援学校訪問	・高校理科研修 ・図工・美術『鑑賞指導』研修 ・小学校体育授業づくり研修（公開授業） ・中高体育授業づくり研修（公開授業） ・伝え合う力を育む！小学校英語教育基礎研修 ・伝え合う力を育む！中学校英語教育基礎研修 ・伝え合う力を育む！高校英語教育研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT 活用） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－小－） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－中－） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－高－） ・中学校英語地域別研修 ・ウェルビーイングの視点から拓く道徳授業づくり研修 ・探究的な学びのための NIE 講座 ・探究的な学びのための MieMu 活用講座 ・探究的な学びのための埋蔵文化財センター活用講座 ・小学校複式学級の授業づくり研修 ・授業改善のための実践研修（県立学校の教科指導に関わる公開授業をととして） ・若手教員のための授業デザインのカギ①～「振り返り」から育む主体的な学びの実現に向けて～ ・若手教員のための授業デザインのカギ②～「対話」をととした深い学びの実現に向けて～ ・スキルアップ研修「授業づくりの基本を学ぶ」～導入・板書・机間指導のポイント～ ・スキルアップ研修「授業づくりの基本を学ぶ」～モデル授業から学ぶ、考えが深まる授業づくり～ 【小中】 ・幼児教育研究協議会（小・特） ・道徳教育推進会議（小・中・高） ・幼児教育推進会議（小・特） ・ICT 機器を活用した教育実践報告会（小・中） 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会 ・小学校元気アップ研修会（小） ・体育・保健体育指導力向上研修（中・高） ・元気アップブロック別協議会 ・運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特） ・運動部活動指導者マネジメント研修会（中・高） ・武道等指導力向上講習会（中・高） ・体力向上トライアル研修会（小・中） ・学校給食の安全と充実に向けた講習会 ・学校における食育ステップアップ講習会 【高教】 ・外国語教育の充実を図るための研修会（高校英語基礎研修）（高・特） ・外国語指導助手の指導力等向上研修（高・特） ・県立高等学校教務担当者会議（高）
	生徒指導 児童生徒理解	・初任者研修（第 1～3、5～8、10、12、14、15 回） ・教職 2～3 年次研修（第 4～7 回） ・新規採用養護教諭研修（第 1.2.5.8 回）	・養護教諭職務推進研修 3、4 ・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食関係職員研修 ・人権教育の進め方

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
生徒指導	児童生徒理解	・新規採用栄養教諭研修（第1、2回） ・新規採用実習助手研修（第1、2回） ・常勤講師等研修（第2回） ・三重大学教職大学院連携講座3 ・教職2～3年次教員のための生徒指導力アップ研修	・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別支援教育 ICT 活用と授業のユニバーサルデザイン ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・レジリエンス教育の進め方 ・不登校児童生徒への支援 ・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり ・子どもの可能性を伸ばす学級経営Ⅰ ・子どもの可能性を伸ばす学級経営Ⅱ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～今こそ見直す、自身の学級経営～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子ども同士をつなぐアクティビティ～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子どもと保護者とともに歩む2学期の学級づくり～ ・スキルアップ研修「人間関係づくりの基本を学ぶ」～良好な関係を築く思いの伝え方～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～子どもの心に響く教師の言葉～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～「生徒指導提要」で学ぶ生徒指導のポイント～ ・教育相談ベーシック研修1～6 ・教育相談地域支援研修
	生徒指導 いじめへの対応	・初任者研修（第3、8、11、12、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用実習助手研修（第2回） ・常勤講師等研修（第2回） ・三重大学教職大学院連携講座3 ・教職2～3年次教員のための生徒指導力アップ研修	・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～今こそ見直す、自身の学級経営～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子ども同士をつなぐアクティビティ～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子どもと保護者とともに歩む2学期の学級づくり～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～子どもの心に響く教師の言葉～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～「生徒指導提要」で学ぶ生徒指導のポイント～ ・教育相談ベーシック研修1,3,6 【生指】 ・小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） ・高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）
	キャリア教育	・初任者研修（第2、14、15回） ・教職2～3年次研修（第1、2、4～7回） ・新規採用実習助手研修（第2回） ・専門高校訪問1、2	・つながるキャリア教育1 ・つながるキャリア教育2 【高教】 ・キャリア教育フォーラム

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育	・初任者研修（第3、8、11、13～15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第2、11回） ・新規採用栄養教諭研修（第2回） ・新規採用実習助手研修（第2回） ・常勤講師等研修（第1回） ・県立特別支援学校訪問 ・附属特別支援学校訪問	・養護教諭職務推進研修3、4 ・学校給食栄養管理者研修1 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別支援教育 ICT 活用と授業のユニバーサルデザイン ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・教育相談ベーシック研修1,4 【特支】 ・発達障がい専門研修 ・発達障がいエリア研修 ・発達障がい支援研修 ・県立特別支援学校清掃技能検定実技講習会（特） ・医療的ケアスキルアップ研修会 ・県立特別支援学校特別支援教育コーディネーター実地研修（特）
	外国人児童生徒教育	・初任者研修（第2、11、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用実習助手研修（第2回）	・日本語指導を必要とする児童生徒への支援 【小中】 ・外国人児童生徒教育検討会議（小・中） 【高教】 ・日本語指導担当者研修（高・特）
	不登校児童生徒への支援	・初任者研修（第3、12、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第5、8回） ・新規採用実習助手研修（第2回） ・教職2～3年次教員のための生徒指導力アップ研修	・不登校児童生徒への支援 ・教育相談ベーシック研修1,2,5 ・教育相談地域支援研修 【生指】 ・レジリエンス教育実践事業研修
教育課題への対応力	ICTや情報・教育データの利活用	・初任者研修（第4、7回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第2回） ・新規採用栄養教諭研修（第2回） ・新規採用実習助手研修（第2回）	・養護教諭職務推進研修2 ・これからの子どもたちに身につけさせたい情報社会との付き合い方 ・主体的・対話的で深い学びへつなげる情報活用能力が生きる授業方法 ・生成 AI 入門－教育現場で役立つ AI の基礎知識－ ・生成 AI の活用～学校 DX や授業改善を進めるために～ ・教員 ICT 活用地域研修 ・授業での ICT 活用放課後研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT 活用）
	グローバル教育	・初任者研修（第14、15回） ・教職2～3年次研修（第1、2、4～7回）	・みんなで目指す SDG s ・探究的な学びのための MieMu 活用講座
	人権教育	・初任者研修（第1、12、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第1回） ・新規採用栄養教諭研修（第1回） ・新規採用実習助手研修（第1回） ・常勤講師等研修（第2回）	・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 【人権】 ・人権学習指導資料等活用のための講座

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
教育課題への対応力	防災教育	・初任者研修（第11、14、15回） ・教職2～3年次研修（第4～7回） ・新規採用養護教諭研修（第2回） ・新規採用栄養教諭研修（第1回） ・新規採用実習助手研修（第2回）	【総務】 ・学校防災リーダー研修 ・三重県災害時学校支援チーム隊員スキルアップ研修 ・学校危機管理研修 ・特別支援学校防災機能強化検討会（特）

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
	保健管理	・新規採用養護教諭研修（第3～11回） ・常勤講師等研修（第1、2回）	・養護教諭職務推進研修1、2、3、4
	保健教育	・新規採用養護教諭研修（第3、6、8～11回） ・常勤講師等研修（第1回）	・養護教諭職務推進研修1、2、3、4 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会
	保健室経営	・新規採用養護教諭研修（第5、9～11回）	・養護教諭職務推進研修2、3
	健康相談	・新規採用養護教諭研修（第3～11回）	・養護教諭職務推進研修3、4
	保健組織活動	・新規採用養護教諭研修（第3～11回）	・養護教諭職務推進研修1、2、3、4

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
給食管理	栄養管理（献立作成）	・新規採用栄養教諭研修（第1、2、3、4、5、10、11回） ・常勤講師等研修（第1回）	・学校給食栄養管理者研修2
	衛生管理	・新規採用栄養教諭研修（第1、2、3、6、8、10、11回） ・常勤講師等研修（第2回）	【保体】 ・学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導	給食の時間の指導	・新規採用栄養教諭研修（第1、2、3、10、11回） ・常勤講師等研修（第1回）	・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食栄養管理者研修2 ・学校給食関係職員研修
	教科等における指導	・新規採用栄養教諭研修（第1、2、3、7、9、11回） ・常勤講師等研修（第1回）	・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食関係職員研修 【保体】 ・学校における食育ステップアップ講習会
	個別的な相談指導	・新規採用栄養教諭研修（第1、2、3、4、10、11回） ・常勤講師等研修（第1回）	・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食栄養管理者研修2 ・学校給食関係職員研修

2【第2ステージ：伸長期】教職経験6年次～10年次

知識や経験に基づいた実践力を高める

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
教職に必要な素養	教育的愛情 使命感 責任感	・教職6年次研修（第1回）	・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり
	倫理観 コンプライアンス	・教職6年次研修（第1回） ・養護教諭6年次研修（第1回） ・栄養教諭6年次研修（第1回）	
	社会性 コミュニケーション力	・教職6年次研修（第1～5回） ・養護教諭6年次研修（第2、5回） ・栄養教諭6年次研修（第2、3、4回）	・スキルアップ研修「人間関係づくりの基本を学ぶ」～良好な関係を築く思いの伝え方～ ・学校組織マネジメントリーダー育成研修（第2、3回）
	学び続ける意欲 探究心	・教職6年次研修（第1～5回） ・養護教諭6年次研修（第1回） ・栄養教諭6年次研修（第1、5回）	・授業研究推進リーダー育成研修（第1、5回） ・学校組織マネジメントリーダー育成研修（第1～5回） ・三重のリーダー・ダイアログ ・三重のリーダー・セミナー
	学校運営への参画	・教職6年次研修（第1回）	・授業研究推進リーダー育成研修（第1、2、5回） ・学校組織マネジメントリーダー育成研修（第1～5回） ・三重のリーダー・ダイアログ ・三重のリーダー・セミナー
	危機管理	・教職6年次研修（第1回） ・養護教諭6年次研修（第3回） ・栄養教諭6年次研修（第3回）	・養護教諭職務推進研修1 【生指】 ・交通安全教室講習会（中・特） ・防犯教室講習会（小・高・特）
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善	・教職6年次研修（第3～5回） ・栄養教諭6年次研修（第4回）	・汎用的な『読む力』を育む授業づくり研修 ・児童の主体的な学びを実現する算数授業づくり基礎研修（小学校） ・生徒の深い学びを実現する数学授業づくり研修（中学校） ・生徒が主体的に探究する数学授業づくり研修（高等学校） ・問題解決の過程を重視した小学校理科授業づくり研修 ・小学校理科授業づくり地域別研修 ・生徒の科学的に探究する力を育む中学校理科授業づくり研修 ・高校理科研修 ・図工・美術『鑑賞指導』研修 ・小学校体育授業づくり研修（公開授業） ・中高体育授業づくり研修（公開授業） ・伝え合う力を育む！小学校英語教育基礎研修 ・伝え合う力を育む！中学校英語教育基礎研修 ・伝え合う力を育む！高校英語教育研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT活用） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－小－） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－中－） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－高－） ・中学校英語地域別研修 ・ウェルビーイングの視点から拓く道徳授業づくり研修 ・探究的な学びのためのNIE講座 ・探究的な学びのためのMieMu活用講座 ・探究的な学びのための埋蔵文化財センター活用講座 ・小学校複式学級の授業づくり研修 ・授業改善のための実践研修（県立学校の教科指導に関わる公開授業をととして）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善		・若手教員のための授業デザインのカギ①～「振り返り」から育む主体的な学びの実現に向けて～ ・若手教員のための授業デザインのカギ②～「対話」をととした深い学びの実現に向けて～ ・スキルアップ研修「授業づくりの基本を学ぶ」～導入・板書・机間指導のポイント～ ・スキルアップ研修「授業づくりの基本を学ぶ」～モデル授業から学ぶ、考えが深まる授業づくり～ ・授業研究推進リーダー育成研修（第1～5回） 【小中】 ・幼児教育研究協議会（小・特） ・道徳教育推進会議（小・中・高） ・幼児教育推進会議（小・特） ・ICT 機器を活用した教育実践報告会（小・中） 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会 ・小学校元気アップ研修会（小） ・体育・保健体育指導力向上研修（中・高） ・元気アップブロック別協議会 ・運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特） ・運動部活動指導者マネジメント研修会（中・高） ・武道等指導力向上講習会（中・高） ・体力向上トライアル研修会（小・中） ・学校給食の安全と充実に向けた講習会 ・学校における食育ステップアップ講習会 【高教】 ・外国語教育の充実を図るための研修会（高校英語基礎研修）（高・特） ・外国語指導助手の指導力等向上研修（高・特） ・県立高等学校教務担当者会議（高）
		・教職6年次研修（第1、2、4、5回） ・養護教諭6年次研修（第2～4回） ・栄養教諭6年次研修（第1、3回）	・養護教諭職務推進研修3、4 ・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食関係職員研修 ・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別支援教育 ICT 活用と授業のユニバーサルデザイン ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・レジリエンス教育の進め方 ・不登校児童生徒への支援 ・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり
生徒指導	児童生徒理解		

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
生徒指導	児童生徒理解		・子どもの可能性を伸ばす学級経営Ⅰ ・子どもの可能性を伸ばす学級経営Ⅱ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～今こそ見直す、自身の学級経営～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子ども同士をつなぐアクティビティ～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子どもと保護者とともに歩む2学期の学級づくり～ ・スキルアップ研修「人間関係づくりの基本を学ぶ」～良好な関係を築く思いの伝え方～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～子どもの心に響く教師の言葉～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～「生徒指導提要」で学ぶ生徒指導のポイント～ ・教育相談ベーシック研修1～6 ・教育相談ステップアップ研修1～6 ・教育相談リーダー育成研修 ・教育相談地域支援研修
	生徒指導 いじめへの対応	・教職6年次研修（第1回）	・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～今こそ見直す、自身の学級経営～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子ども同士をつなぐアクティビティ～ ・スキルアップ研修「学級づくりの基本を学ぶ」～子どもと保護者とともに歩む2学期の学級づくり～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～子どもの心に響く教師の言葉～ ・スキルアップ研修「生徒指導の基本を学ぶ」～「生徒指導提要」で学ぶ生徒指導のポイント～ ・教育相談ベーシック研修1,3,6 ・教育相談ステップアップ研修2 ・教育相談リーダー育成研修 【生指】 ・小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） ・高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）
	キャリア教育		・つながるキャリア教育1 ・つながるキャリア教育2 【高教】 ・キャリア教育フォーラム
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育	・教職6年次研修（第2回） ・養護教諭6年次研修（第4回） ・栄養教諭6年次研修（第3回）	・養護教諭職務推進研修3、4 ・学校給食栄養管理者研修1 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別支援教育 ICT 活用と授業のユニバーサルデザイン ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・教育相談ベーシック研修1,4 ・教育相談リーダー育成研修

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育		【特支】 ・発達障がい実践研修 ・発達障がいエリア研修 ・発達障がい支援研修 ・発達障がい支援メンター養成研修 ・県立特別支援学校清掃技能検定実技講習会（特） ・医療的ケアスキルアップ研修会 ・県立特別支援学校特別支援教育コーディネーター実地研修（特）
	外国人児童生徒教育		・日本語指導を必要とする児童生徒への支援 【小中】 ・外国人児童生徒教育検討会議（小・中） 【高教】 ・日本語指導担当者研修（高・特）
	不登校児童生徒への支援	・教職 6 年次研修（第 1 回） ・養護教諭 6 年次研修（第 2、3 回）	・不登校児童生徒への支援 ・教育相談ベーシック研修 1, 2, 5 ・教育相談ステップアップ研修 3～5, 7, 8 ・教育相談リーダー育成研修 ・教育相談地域支援研修 【生指】 ・レジリエンス教育実践事業研修
教育課題への対応力	I C T や情報・教育データの利活用	・教職 6 年次研修（第 3 回）	・養護教諭職務推進研修 2 ・これからの子どもたちに身につけさせたい情報社会との付き合い方 ・主体的・対話的で深い学びへつなげる情報活用能力が生きる授業方法 ・生成 AI 入門－教育現場で役立つ AI の基礎知識－ ・生成 AI の活用～学校 DX や授業改善を進めるために～ ・教員 ICT 活用地域研修 ・授業での ICT 活用放課後研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT 活用）
	グローバル教育		・みんなで目指す SDG s ・探究的な学びのための MieMu 活用講座
	人権教育	・教職 6 年次研修（第 2 回） ・養護教諭 6 年次研修（第 1 回） ・栄養教諭 6 年次研修（第 1 回）	・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 【人権】 ・人権学習指導資料等活用のための講座
	防災教育	・教職 6 年次研修（第 1 回）	【総務】 ・学校防災リーダー研修 ・三重県災害時学校支援チーム隊員スキルアップ研修 ・学校危機管理研修 ・特別支援学校防災機能強化検討会（特）

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
保健管理		・養護教諭 6 年次研修（第 1 ～ 5 回）	・養護教諭職務推進研修 1、2、3、4
保健教育		・養護教諭 6 年次研修（第 1、3 ～ 5 回）	・養護教諭職務推進研修 1、2、3、4 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会
保健室経営		・養護教諭 6 年次研修（第 1 ～ 5 回）	・養護教諭職務推進研修 2、3
健康相談		・養護教諭 6 年次研修（第 1 ～ 5 回）	・養護教諭職務推進研修 3、4
保健組織活動		・養護教諭 6 年次研修（第 1 ～ 5 回）	・養護教諭職務推進研修 1、2、3、4

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
給食管理	栄養管理 （献立作成）	・栄養教諭 6 年次研修（第 1、2、5 回）	・学校給食栄養管理者研修 2
	衛生管理	・栄養教諭 6 年次研修（第 2、3、5 回）	【保体】 ・学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導	給食の時間の指導	・栄養教諭 6 年次研修（第 1、2、5 回）	・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食栄養管理者研修 2 ・学校給食関係職員研修
	教科等における指導	・栄養教諭 6 年次研修（第 1、2、4、5 回）	・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食関係職員研修
	個別的な相談指導	・栄養教諭 6 年次研修（第 1、2、5 回）	・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食栄養管理者研修 2 ・学校給食関係職員研修

3【第3ステージ：充実期】教職経験11年次～20年次

多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
教職に必要な素養	教育的愛情 使命感 責任感	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・新任指導教諭研修（第1回） ・新任主幹教諭研修（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回）	・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり
	倫理観 コンプライアンス	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・新任指導教諭研修（第1回） ・新任主幹教諭研修（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回）	
	社会性 コミュニケーション力	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、4～6回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第1～3回） ・新任指導教諭研修（第1回） ・新任主幹教諭研修（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第2、4、5回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回）	・学校組織マネジメントリーダー育成研修（第2、3回）
	学び続ける意欲 探究心	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、4～6回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第1、3、4回） ・新任指導教諭研修（第1、2回） ・新任主幹教諭研修（第1、2回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、6回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第1、4回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第1、4回）	・職務・職能指導教諭研修 ・授業研究推進リーダー育成研修（第1、5回） ・学校組織マネジメントリーダー育成研修（第1～5回） ・三重のリーダー・ダイアログ ・三重のリーダー・セミナー
	学校運営への参画	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～3回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第1～3回） ・新任指導教諭研修（第1、2回） ・新任主幹教諭研修（第1、2回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第2回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回）	・職務・職能指導教諭研修 ・授業研究推進リーダー育成研修（第1、2、5回） ・学校組織マネジメントリーダー育成研修（第1～5回） ・三重のリーダー・ダイアログ ・三重のリーダー・セミナー
	危機管理	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第3、5回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回）	・養護教諭職務推進研修1【生指】 ・交通安全教室講習会（中・特） ・防犯教室講習会（小・高・特）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第４～６回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第３、４回） ・新任指導教諭研修（第１、２回） ・新任主幹教諭研修（第１回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第３、５回）	・職務・職能指導教諭研修 ・汎用的な『読む力』を育む授業づくり研修 ・『問う力』を育む授業づくり研修 ・『見方・考え方の成長』を促す社会授業アップデート研修 ・生徒の深い学びを実現する数学授業づくり研修（中学校） ・生徒が主体的に探究する数学授業づくり研修（高等学校） ・小学校理科授業づくり地域別研修 ・高校理科研修 ・図工・美術『鑑賞指導』研修 ・小学校体育授業づくり研修（公開授業） ・中高体育授業づくり研修（公開授業） ・伝え合う力を育む！高校英語教育研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT活用） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－小－） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－中－） ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－高－） ・中学校英語地域別研修 ・ウェルビーイングの視点から拓く道徳授業づくり研修 ・探究的な学びのためのNIE講座 ・探究的な学びのためのMieMu活用講座 ・探究的な学びのための埋蔵文化財センター活用講座 ・小学校複式学級の授業づくり研修 ・授業改善のための実践研修（県立学校の教科指導に関わる公開授業をととして） ・授業研究推進リーダー育成研修（第１～５回） 【小中】 ・幼児教育研究協議会（小・特） ・道徳教育推進会議（小・中・高） ・幼児教育推進会議（小・特） ・ICT機器を活用した教育実践報告会（小・中） 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会 ・小学校元気アップ研修会（小） ・体育・保健体育指導力向上研修（中・高） ・元気アップブロック別協議会 ・運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特） ・運動部活動指導者マネジメント研修会（中・高） ・武道等指導力向上講習会（中・高） ・体力向上トライアル研修会（小・中） ・学校給食の安全と充実に向けた講習会 ・学校における食育ステップアップ講習会 【高教】 ・外国語教育の充実を図るための研修会（高校英語基礎研修）（高・特） ・外国語指導助手の指導力等向上研修（高・特） ・県立高等学校教務担当者会議（高）
	児童生徒理解	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第３、５、６回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第２回）	・職務・職能指導教諭研修 ・養護教諭職務推進研修３、４ ・学校給食栄養管理者研修１

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
生徒指導	児童生徒理解	・新任指導教諭研修（第1、2回） ・新任主幹教諭研修（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第3、4回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第4回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、4回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第1、4回）	・学校給食関係職員研修 ・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別支援教育 ICT 活用と授業のユニバーサルデザイン ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・レジリエンス教育の進め方 ・不登校児童生徒への支援 ・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり ・子どもの可能性を伸ばす学級経営Ⅰ ・子どもの可能性を伸ばす学級経営Ⅱ ・教育相談ステップアップ研修 1～6 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス ・教育相談地域支援研修
	生徒指導 いじめへの対応	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第3回）	・教育相談ステップアップ研修 2 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス 【生指】 ・小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） ・高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）
	キャリア教育		【高教】 ・キャリア教育フォーラム
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第3回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第2回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回）	・養護教諭職務推進研修 3、4 ・学校給食栄養管理者研修 1 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別支援教育 ICT 活用と授業のユニバーサルデザイン ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス 【特支】 ・発達障がい実践研修 ・発達障がいエリア研修 ・発達障がい支援研修

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育		・発達障がい支援メンター養成研修 ・県立特別支援学校清掃技能検定実技講習会（特） ・医療的ケアスキルアップ研修会 ・県立特別支援学校特別支援教育コーディネーター実地研修（特）
	外国人児童生徒教育		・日本語指導を必要とする児童生徒への支援 【小中】 ・外国人児童生徒教育検討会議（小・中） 【高教】 ・日本語指導担当者研修（高・特）
	不登校児童生徒への支援	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第3回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、3回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第3回）	・不登校児童生徒への支援 ・教育相談ステップアップ研修3～5 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス ・教育相談地域支援研修 【生指】 ・レジリエンス教育実践事業研修
教育課題への対応力	ICTや情報・教育データの利活用	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第5、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第3回）	・養護教諭職務推進研修2 ・これからの子どもたちに身につけさせたい情報社会との付き合い方 ・主体的・対話的で深い学びへつなげる情報活用能力が生きる授業方法 ・生成AI入門－教育現場で役立つAIの基礎知識－ ・生成AIの活用～学校DXや授業改善を進めるために～ ・教員ICT活用地域研修 ・授業でのICT活用放課後研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT活用）
	グローバル教育		・みんなで目指すSDGs ・探究的な学びのためのMieMu活用講座
	人権教育	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2回） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（第1回） ・新任指導教諭研修（第2回） ・新任指導教諭研修（第2回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第2回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第2回）	・職務・職能指導教諭研修 ・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 【人権】 ・第1回地区別人権教育研修会（高・特） ・第2回地区別人権教育研修会（高・特） ・第3回地区別人権教育研修会（高・特） ・人権教育推進委員会等代表者研修会（兼「子ども支援ネットワークづくり」推進教員連絡会議）（小・中） ・人権学習指導資料等活用のための講座
	防災教育	・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回）	【総務】 ・学校防災リーダー研修 ・三重県災害時学校支援チーム隊員スキルアップ研修 ・学校危機管理研修 ・特別支援学校防災機能強化検討会（特）

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
保健管理		・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～6回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・養護教諭職務推進研修1、2、3、4
保健教育		・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、3～6回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・養護教諭職務推進研修1、2、3、4 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会
保健室経営		・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～6回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・養護教諭職務推進研修2、3
健康相談		・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～6回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・養護教諭職務推進研修3、4
保健組織活動		・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～6回） ・中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・養護教諭職務推進研修1、2、3、4

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
給食管理	栄養管理 （献立作成）	・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・学校給食栄養管理者研修2
	衛生管理	・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第2、4、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	【保体】 ・学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導	給食の時間の指導	・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食栄養管理者研修2 ・学校給食関係職員研修
	教科等における指導	・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～3、5、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食関係職員研修 【保体】 ・学校における食育ステップアップ講習会
	個別的な相談指導	・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、6回） ・中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ（第2、4回）	・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食栄養管理者研修2 ・学校給食関係職員研修

4【第4ステージ：発展期】教職経験21年次以降

高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
教職に必要な素養	教育的愛情 使命感 責任感	・ 新任指導教諭研修（第1回） ・ 新任主幹教諭研修（第1回）	・ 児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり
	倫理観 コンプライアンス	・ 新任指導教諭研修（第1回） ・ 新任主幹教諭研修（第1回）	
	社会性 コミュニケーション力	・ 新任指導教諭研修（第1回） ・ 新任主幹教諭研修（第1回）	・ 学校組織マネジメントリーダー育成研修（第2、3回）
	学び続ける意欲 探究心	・ 新任指導教諭研修（第1、2回） ・ 新任主幹教諭研修（第1、2回）	・ 職務・職能指導教諭研修 ・ 授業研究推進リーダー育成研修（第1、5回） ・ 学校組織マネジメントリーダー育成研修（第1～5回） ・ 三重のリーダー・ダイアログ ・ 三重のリーダー・セミナー
	学校運営への参画	・ 新任指導教諭研修（第1、2回） ・ 新任主幹教諭研修（第1、2回）	・ 職務・職能指導教諭研修 ・ 授業研究推進リーダー育成研修（第1、2、5回） ・ 学校組織マネジメントリーダー育成研修（第1～5回） ・ 三重のリーダー・ダイアログ ・ 三重のリーダー・セミナー
	危機管理		・ 養護教諭職務推進研修1 【生指】 ・ 交通安全教室講習会（中・特） ・ 防犯教室講習会（小・高・特）
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善	・ 新任指導教諭研修（第1、2回） ・ 新任主幹教諭研修（第1回）	・ 職務・職能指導教諭研修 ・ 汎用的な『読む力』を育む授業づくり研修 ・ 『問う力』を育む授業づくり研修 ・ 『見方・考え方の成長』を促す社会授業アップデート研修 ・ 生徒の深い学びを実現する数学授業づくり研修（中学校） ・ 生徒が主体的に探究する数学授業づくり研修（高等学校） ・ 小学校理科授業づくり地域別研修 ・ 高校理科研修 ・ 図工・美術『鑑賞指導』研修 ・ 小学校体育授業づくり研修（公開授業） ・ 中高体育授業づくり研修（公開授業） ・ 伝え合う力を育む！高校英語教育研修 ・ 言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT活用） ・ 言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－小－） ・ 言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－中－） ・ 言語活動でつくる！英語授業づくり研修（公開授業－高－） ・ 中学校英語地域別研修 ・ ウェルビーイングの視点から拓く道徳授業づくり研修 ・ 探究的な学びのためのNIE講座 ・ 探究的な学びのためのMieMu活用講座 ・ 探究的な学びのための埋蔵文化財センター活用講座 ・ 小学校複式学級の授業づくり研修

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
学習指導	授業計画 授業実践 授業改善		・授業改善のための実践研修（県立学校の教科指導に関わる公開授業をととして） ・授業研究推進リーダー育成研修（第1～5回） 【小中】 ・幼児教育研究協議会（小・特） ・道德教育推進会議（小・中・高） ・幼児教育推進会議（小・特） ・ICT 機器を活用した教育実践報告会（小・中） 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会 ・小学校元気アップ研修会（小） ・体育・保健体育指導力向上研修（中・高） ・元気アップブロック別協議会 ・運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特） ・運動部活動指導者マネジメント研修会（中・高） ・武道等指導力向上講習会（中・高） ・体力向上トライアル研修会（小・中） ・学校給食の安全と充実に向けた講習会 ・学校における食育ステップアップ講習会 【高教】 ・外国語教育の充実を図るための研修会（高校英語基礎研修）（高・特） ・外国語指導助手の指導力等向上研修（高・特） ・県立高等学校教務担当者会議（高）
		・新任指導教諭研修（第1回） ・新任主幹教諭研修（第1回）	・養護教諭職務推進研修3、4 ・学校給食栄養管理者研修1 ・学校給食関係職員研修 ・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 ・特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・レジリエンス教育の進め方 ・不登校児童生徒への支援 ・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり ・教育相談ステップアップ研修7,8 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス ・教育相談地域支援研修
生徒指導	児童生徒理解		

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
生徒指導	生徒指導 いじめへの対応		・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス 【生指】 ・小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） ・高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）
	キャリア教育		【高教】 ・キャリア教育フォーラム
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育		・養護教諭職務推進研修 3、4 ・学校給食栄養管理者研修 1 ・特別支援学級等新担当教員研修（第 1～4 回） ・通常学級に在籍する、困り感を持った児童生徒への対応 ・特別な支援が必要な児童生徒のキャリアを考える ・特別支援教育基礎講座【知的障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【自閉症児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【情緒障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【肢体不自由児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【病弱・虚弱児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【視覚障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【言語障がい児の教育】 ・特別支援教育基礎講座【聴覚障がい児の教育】 ・教育相談ステップアップ研修 7, 8 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス 【特支】 ・発達障がいエリア研修 ・発達障がい支援研修 ・発達障がい支援メンター養成研修 ・県立特別支援学校清掃技能検定実技講習会（特） ・医療的ケアスキルアップ研修会 ・県立特別支援学校特別支援教育コーディネーター実地研修（特）
	外国人児童生徒教育		・日本語指導を必要とする児童生徒への支援 【小中】 ・外国人児童生徒教育検討会議（小・中） 【高教】 ・日本語指導担当者研修（高・特）
	不登校児童生徒への支援		・不登校児童生徒への支援 ・教育相談ステップアップ研修 7, 8 ・教育相談リーダー育成研修 ・ケース・カンファレンス ・教育相談地域支援研修 【生指】 ・レジリエンス教育実践事業研修
教育課題への対応力	I C T や情報・教育データの利活用		・養護教諭職務推進研修 2 ・これからの子どもたちに身につけさせたい情報社会との付き合い方 ・主体的・対話的で深い学びへつなげる情報活用能力が生きる授業方法 ・生成 AI 入門－教育現場で役立つ AI の基礎知識－ ・生成 AI の活用～学校 DX や授業改善を進めるために～ ・今から学べる ICT ツールの授業での活用方法 ・教員 ICT 活用地域研修

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
教育課題への 対応力			・授業での ICT 活用放課後研修 ・言語活動でつくる！英語授業づくり研修（ICT 活用）
	グローバル教育		・探究的な学びのための MieMu 活用講座
	人権教育	・新任指導教諭研修（第 2 回） ・新任主幹教諭研修（第 2 回）	・職務・職能指導教諭研修 ・人権教育の進め方 ・性の多様性とその課題への対応 ・部落差別の現実から学ぶ、自分と他者の大切さ ・「子どもの権利」から考えるヤングケアラー支援 【人権】 ・第 1 回地区別人権教育研修会（高・特） ・第 2 回地区別人権教育研修会（高・特） ・第 3 回地区別人権教育研修会（高・特） ・人権教育推進委員会等代表者研修会（兼「子ども支援ネットワークづくり」推進教員連絡会議）（小・中） ・人権学習指導資料等活用のための講座
	防災教育		【総務】 ・学校防災リーダー研修 ・三重県災害時学校支援チーム隊員スキルアップ研修 ・学校危機管理研修 ・特別支援学校防災機能強化検討会（特）

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
保健管理			・養護教諭職務推進研修 1、2、3、4
保健教育			・養護教諭職務推進研修 1、2、3、4 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会
保健室経営			・養護教諭職務推進研修 2、3
健康相談			・養護教諭職務推進研修 3、4
保健組織活動			・養護教諭職務推進研修 1、2、3、4

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
給食管理	栄養管理 （献立作成）		・学校給食栄養管理者研修 2
	衛生管理		【保体】 ・学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導	給食の時間の指導		・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食栄養管理者研修 2 ・学校給食関係職員研修
	教科等における指導		・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食関係職員研修 【保体】 ・学校における食育ステップアップ講習会
	個別的な相談指導		・学校給食栄養管理者研修 1 ・学校給食栄養管理者研修 2 ・学校給食関係職員研修

5【教頭・准校長：マネジメント力の強化】

学校マネジメントにおける教頭・准校長の役割を理解し、学校教育目標の達成に向けて、教職員の共通理解を図るとともに保護者・地域との連携・協働を進めながら、校長を補佐し学校改善を推進する

資質能力にかかる項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
要 な 素 養	管理職に必	・新任教頭研修（第1、2、4回） ・新任教頭研修（第3回）（県立） ・新任教頭研修（第3回）（小中）	・災害時における管理職のリーダーシップ研修 ・管理職のためのスクール・コンプライアンス研修【福給】 ・県立学校教職員の健康管理等に関する説明会（高・特） ・安全衛生管理責任者・衛生管理者等研修会（高・特）
	学校の構築	・新任教頭研修（第3回）（小中） ・新任教頭研修（第4回）	
組 織 運 営	課題把握	・新任教頭研修（第3回）（小中） ・新任教頭研修（第4回）	
	学校ビジョンの明示	・新任教頭研修（第3回）（小中） ・新任教頭研修（第4回）	【人権】 ・第2回地区別人権教育研修会（高・特）
	学校運営	・新任教頭研修（第3回）（小中） ・新任教頭研修（第4回）	・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり ・三重のリーダー・ダイアログ ・三重のリーダー・セミナー ・教育相談ステップアップ研修7,8 【人権】 ・第2回地区別人権教育研修会（高・特）
	家庭・地域社会・関係機関との連携・協働	・新任教頭研修（第1、2回） ・新任教頭研修（第3回）（県立） ・新任教頭研修（第3回）（小中）	・災害時における管理職のリーダーシップ研修 ・管理職のためのスクール・コンプライアンス研修 ・教育相談ステップアップ研修7,8
組 織 運 営	危機管理	・新任教頭研修（第1、2回） ・新任教頭研修（第3回）（県立）	・災害時における管理職のリーダーシップ研修 ・管理職のためのスクール・コンプライアンス研修 ・教育相談ステップアップ研修7,8 【総務】 ・学校防災リーダー研修 ・学校危機管理研修 ・特別支援学校防災機能強化検討会（特）
	職場環境づくり チームワーク	・新任教頭研修（第1、4回） ・新任教頭研修（第3回）（小中）	・教育相談ステップアップ研修7,8 ・ケース・カンファレンス
人 材 育 成	教員の資質向上	・新任教頭研修（第1、4回） ・新任教頭研修（第3回）（小中）	【小中】 ・幼児教育研究協議会（小・特） ・幼児教育推進会議（小・特） ・ICT 機器を活用した教育実践報告会（小・中） ・外国人児童生徒教育検討会議（小・中） 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会 ・学校における食育ステップアップ講習会 ・学校給食の安全と充実に向けた講習会 【人権】 ・人権学習指導資料等活用のための講座
	人材育成	・新任教頭研修（第1回） ・新任教頭研修（第3回）（小中）	【人権】 ・第2回地区別人権教育研修会（高・特）

6【校長：マネジメント力の発揮】

学校マネジメントによって教職員の意識改革を図り、学校組織としてのリーダーとしての確かな判断や決断をしながら、学校を活性化し、魅力ある学校づくりをする

資質能力にかかる		対応する研修講座	
項目		法定・悉皆研修	希望研修
素養	管理職に必要な	・新任校長研修（第1、3、4回） ・新任校長研修（第2回）（県立） ・新任校長研修（第2回）（小中）	・災害時における管理職のリーダーシップ研修 ・管理職のためのスクール・コンプライアンス研修 【学力】 ・校長研修会（仮）（小・中） 【福給】 ・県立学校教職員の健康管理等に関する説明会（高・特） ・安全衛生管理責任者・衛生管理者等研修会（高・特）
	学校ビジョンの構築	・新任校長研修（第1、3、4回） ・トップリダーマネジメント研修（第4、5回）	・トップリダーマネジメント研修（第4、5回）
組織運営	学校運営	・新任校長研修（第1、3、4回） ・新任校長研修（第2回）（県立） ・新任校長研修（第2回）（小中） ・トップリダーマネジメント研修（第2、4回）	・児童生徒の自主性を伸ばす人づくり・学校づくり ・トップリダーマネジメント研修（第2、4回） ・三重のリーダー・ダイアログ ・三重のリーダー・セミナー ・教育相談ステップアップ研修7,8 【人権】 ・管理職人権教育研修会（高・特） ・人権教育推進管理職研修会（小・中） ・第3回地区別人権教育研修会（高・特）
	家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	・新任校長研修（第1回） ・新任校長研修（第2回）（県立） ・新任校長研修（第2回）（小中）	・災害時における管理職のリーダーシップ研修 ・管理職のためのスクール・コンプライアンス研修 ・教育相談ステップアップ研修7,8
	危機管理	・新任校長研修（第1回） ・新任校長研修（第2回）（県立） ・新任校長研修（第2回）（小中） ・トップリダーマネジメント研修（第5回）	・災害時における管理職のリーダーシップ研修 ・管理職のためのスクール・コンプライアンス研修 ・トップリダーマネジメント研修（第5回） ・教育相談ステップアップ研修7,8 【総務】 ・学校防災リーダー研修 ・学校危機管理研修 ・特別支援学校防災機能強化検討会（特）
	職場環境づくりチームワーク	・新任校長研修（第1、3、4回） ・新任校長研修（第2回）（県立） ・トップリダーマネジメント研修（第1回）	・トップリダーマネジメント研修（第1回） ・教育相談ステップアップ研修7,8 ・ケース・カンファレンス
人材育成	教員の資質向上	・新任校長研修（第1、2回） ・トップリダーマネジメント研修（第3回）	・トップリダーマネジメント研修（第3回） 【学力】 ・校長研修会（仮）（小・中） 【小中】 ・幼児教育研究協議会（小・特） ・幼児教育推進会議（小・特） ・ICT 機器を活用した教育実践報告会（小・中） ・外国人児童生徒教育検討会議（小・中） 【保体】 ・薬物乱用防止教室推進のための講習会 ・がん教育講習会 ・子どものメンタルヘルスに関わる講演会 ・学校における食育ステップアップ講習会 ・学校給食の安全と充実に向けた講習会 【人権】 ・人権学習指導資料等活用のための講座

資質能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		法定・悉皆研修	希望研修
人材育成	人材育成	・新任校長研修（第1回） ・新任校長研修（第2回）（県立） ・トップリーダーマネジメント研修（第1回）	・トップリーダーマネジメント研修（第1回） 【人権】 ・管理職人権教育研修会（高・特） ・人権教育推進管理職研修会（小・中） ・第3回地区別人権教育研修会（高・特）

7【小中学校事務職員 第1ステージ：基礎形成期】主事

教育の目的、学校の特性及び役割を理解したうえで、学校事務の基本的な考え方や基礎的な知識を実践力につなげ、学校経営に参画する

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		悉皆研修	希望研修
小中学校事務職員として必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第1、5回） ・小中学校事務職員主事【3年次】研修（第11回）	
	倫理観 コンプライアンス	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第1回） ・小中学校事務職員主事【6年次】研修（第12回）	・学校事務職員研修Ⅰ
	社会性 コミュニケーション力	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第1回）	
	学び続ける意欲 探究心	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第1、2、7、10回） ・小中学校事務職員主事【3年次】研修（第11回） ・小中学校事務職員主事【6年次】研修（第13回）	・学校事務職員研修Ⅱ
小中学校事務職員として必要な専門性	組織マネジメント	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第1、2～10回） ・小中学校事務職員主事【3年次】研修（第11回） ・小中学校事務職員主事【6年次】研修（第12、13回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅱ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修
	総務	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第1、2～6、8～10回） ・小中学校事務職員主事【6年次】研修（第12、13回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
	財務	・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第2、5、8～10回） ・小中学校事務職員主事【3年次】研修（第11回） ・小中学校事務職員主事【6年次】研修（第12、13回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
共同学校事務室の運営のために必要なマネジメント力		・小中学校事務職員主事【新規採用】研修（第2、6、10回） ・小中学校事務職員主事【6年次】研修（第12、13回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修

8【小中学校事務職員 第2ステージ：伸長期】主任

基本的技能や知識をもとに実践力を高めるとともに、課題解決能力をつけ、学校経営に参画する

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		悉皆研修	希望研修
とされる素養 小中学校事務職員として必要	教育的愛情 使命感 責任感	・小中学校事務職員主任研修（第1回）	
	倫理観 コンプライアンス	・小中学校事務職員主任研修（第1回）	・学校事務職員研修Ⅰ
	社会性 コミュニケーション力	・小中学校事務職員主任研修（第1、4回）	
	学び続ける意欲 探究心	・小中学校事務職員主任研修（第1、4回）	・学校事務職員研修Ⅱ
要な専門性 小中学校事務職員として必要	組織マネジメント	・小中学校事務職員主任研修（第1～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅱ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修
	総務	・小中学校事務職員主任研修（第1～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
	財務	・小中学校事務職員主任研修（第1～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
必要なマネジメント力 共同学校事務室の運営のために		・小中学校事務職員主任研修（第2～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修

9【小中学校事務職員 第3ステージ：充実期】主査

専門分野における高い実践力と連携・協働の力を持って、学校経営に参画する

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		悉皆研修	希望研修
小中学校事務職員として必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感	・小中学校事務職員主査研修（第1回）	
	倫理観 コンプライアンス	・小中学校事務職員主査研修（第1回）	・学校事務職員研修Ⅰ
	社会性 コミュニケーション力	・小中学校事務職員主査研修（第1、4回）	
	学び続ける意欲 探究心	・小中学校事務職員主査研修（第1、4回）	・学校事務職員研修Ⅱ
小中学校事務職員として必要な専門性	組織マネジメント	・小中学校事務職員主査研修（第1～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅱ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修
	総務	・小中学校事務職員主査研修（第2～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
	財務	・小中学校事務職員主査研修（第2～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
共同学校事務室の運営のために必要なマネジメント力		・小中学校事務職員主査研修（第1～5回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修

10【小中学校事務職員 第4ステージ：発展・深化期】主幹・事務の共同実施リーダー

連絡・調整・指導ができる能力を身につけ、高度な専門性と実践力を持って、学校経営に参画する

資質・能力にかかる		対応する研修講座	
項目		悉皆研修	希望研修
素養 小中学校事務職員として必要とされる	教育的愛情 使命感 責任感	・小中学校事務職員主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1回）	
	倫理観 コンプライアンス	・小中学校事務職員主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1回）	・学校事務職員研修Ⅰ
	社会性 コミュニケーション力	・小中学校事務職員主幹研修（第1回）	
	学び続ける意欲 探究心	・小中学校事務職員主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1、2回）	・学校事務職員研修Ⅱ
必要な専門性 小中学校事務職員として	組織マネジメント	・小中学校事務職員主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1、2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅱ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修
	総務	・事務の共同実施リーダー研修（第2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
	財務	・事務の共同実施リーダー研修（第2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
必要なマネジメント力 共同学校事務室の運営のために		・小中学校事務職員主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1、2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修

1 1 【小中学校事務職員 第4ステージ：発展・深化期】総括主幹・事務の共同実施リーダー

連絡・調整・指導ができる能力と、より高度な専門性と実践力を備え、組織全体を俯瞰し、校長を補佐する職として学校経営に参画する

資質・能力にかかる 項目		対応する研修講座	
		悉皆研修	希望研修
とされる素養 小中学校事務職員として必要	教育的愛情 使命感 責任感	・事務の共同実施リーダー研修（第1回）	
	倫理観 コンプライアンス	・事務の共同実施リーダー研修（第1回）	・学校事務職員研修Ⅰ
	社会性 コミュニケーション力		
	学び続ける意欲 探究心	・事務の共同実施リーダー研修（第1、2回）	・学校事務職員研修Ⅱ
な専門性 小中学校事務職員として必要	組織マネジメント	・小中学校事務職員総括主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1、2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅱ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修
	総務	・小中学校事務職員総括主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
	財務	・小中学校事務職員総括主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・小中学校事務職員ブロック研修
必要なマネジメント力 共同学校事務室の運営のために		・小中学校事務職員総括主幹研修（第1回） ・事務の共同実施リーダー研修（第1、2回）	・学校事務職員研修Ⅰ ・学校事務職員研修Ⅲ ・学校事務職員研修Ⅳ ・小中学校事務職員ブロック研修

※ 調整監については、県内全域の人材育成を担う役割であることから、対応する講座を設定していません。

V オンデマンド型研修（ネット DE 研修）

教職員の研修機会の拡充を図るため、平成 15 年度からインターネットを活用した e ラーニングの手法によるオンデマンド型研修（ネット DE 研修）を実施しています。あわせてネット DE 研修では、独立行政法人教職員支援機構（N I T S）のオンライン講座のうち、「校内研修シリーズ」のコンテンツも視聴できます。

（令和 8 年 3 月現在、15 カテゴリー、161 コンテンツを配信）

1 受講の方法

スマートフォン等インターネットに接続された端末で、場所や時間に拘束されることなく、何度でも研修が受けられます。

○視聴方法

三重県総合教育センターWeb ページ → 「02 ログインへ」 → ネット DE 研修という画面が出たら、ログイン ID とパスワードを入力します。（詳しくはマニュアルを参照ください）

- 1 公立幼稚園・保育所（園）については、各園・所にユーザーID、パスワードが発行されています。ユーザーID が発行されていない園・所で、視聴を希望される場合は、研修推進課テーマ研修班までお問い合わせください。
- 2 紹介している動画配信講座の中には、受講申込者限定配信（ユーザーID・パスワードを個別に設定した教材）の講座もあります。その他、ご不明な点等がありましたら、研修推進課テーマ研修班までお問い合わせください。
（Tel 059-226-3659）



- ネット DE 研修 マニュアル参照方法 ☆ダウンロード可 ●
三重県総合教育センターWeb ページ →
「2 ネット DE 研修」 → 「03 受講の方法」
→ 「一般マニュアル」をクリック

2 ネットDE研修公開講座一覧

①教諭

[illegible]

生徒指導	児童生徒理解	自殺予防 教育相談に関するマネジメントの推進 希死念慮のある児童生徒への適切な対応について① 希死念慮のある児童生徒への適切な対応について②	NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ
	生徒指導 いじめへの対応	いじめの重大事態を防ぐために いじめによる不登校への支援 いのちの教育ーいじめを乗り越える学級づくりー よりよい生活や人間関係を築く特別活動ーいじめ等の未然防止、学力向上の土壌づくりー いじめを予防するための道徳科の授業実践 令和版 ネットいじめの現状と対策 生徒指導Ⅰ 生徒指導Ⅱ 子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための「生命（いのち）の安全教育」について 学校現場における児童虐待対応 学校における児童虐待対応のポイント いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方 ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応 いじめのとらえ方と予防 学校におけるいじめ問題への対応ポイント 教育と法Ⅱ（生徒指導）	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 学級経営 教科指導等 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ
	キャリア教育	よりよい生活の実現に向けた消費者教育 キャリア・パスポート キャリア教育の実践 消費者教育 主権者教育の推進①～現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成～ 主権者教育の推進②～指導上の政治的中立の確保等の留意点～	教育一般 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育	三重県の特別支援教育について 特別支援教育基礎講座ー二次障がいー 特別支援教育基礎講座ー性教育ー 特別支援教育基礎講座ー学級経営ー 特別支援教育基礎講座ー自立活動ー 特別支援教育基礎講座ー個別の指導計画ー 特別支援教育基礎講座ーワーキングメモリーー 発達障がいのある子を支えるー認知の歪みから起こる感情・行動を変えるー 通常学級で無理なくできるユニバーサルデザインーあったかクラスづくりー 学級づくりに活かすソーシャルスキルトレーニング 医療的ケアを必要とする子どもと家族が地域で暮らすこと 医療的ケアを必要とする子どもと家族が地域で暮らすことー喀痰吸引・経管栄養編ー 気になる子どもへの指導と保護者支援の実際 特別支援学級等担当の心構え 自閉症の理解を求めてー息子とともに生きてー ICTを活用した支援 聴覚障害者とコミュニケーションについてー手話が広く使われる社会へー 発達障がいのある子の健康と身体づくり 発達障がいのある子どもへの学習「動作」における指導法 特別支援教育の実際ー通常学級における「特別な配慮」ー 特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育ー特別支援学級における指導の在り方：理論編ー 特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育ー特別支援学級における指導の在り方：実践編ー 多様な学びの支援ー新学習指導要領「障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫」を実現するためにー 学校における医療的ケアについて 病弱教育におけるICT活用 自閉症スペクトラム当事者からみた特別支援教育 特別思念教育総論 学習のユニバーサルデザイン・段階的対応・合理的配慮	特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育（アーカイブ） 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ
教育課題への対応力	外国人児童生徒教育	DLAからはじまる外国人児童生徒教育と社会適応 外国人児童生徒のための日本語教育の考え方と環境づくりー子どもたちが将来の見通しをもって生きるためにー 多文化共生の視点に立った教育の推進ー日本語指導の充実を通してー 教室で使えるポルトガル語講座 日本語指導ー必要な子ども達の学力保障をめざしてー在籍学級における支援や指導の在り方ー 外国人児童生徒等に対する日本語指導	教育一般 学級経営 学級経営 学級経営（アーカイブ） 学級経営 NITS 校内研修シリーズ
	不登校児童生徒への支援	不登校の理解と支援について いじめによる不登校への支援 不登校対策・ひきこもり対策、適応指導教室と学校の関わり方 不登校児童生徒の支援と教育相談 教育機会確保法と不登校支援施策 不登校児童生徒の理解と保護者への支援 不登校児童生徒の対応について	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ

教育課題への対応力	ICTや情報・教育データの利活用	「知らなかった」じゃ済まない！～個人情報保護・情報セキュリティについて～ 協働的な学びと個別最適な学びの一体的な充実に向けて 1人1台端末時代のデジタル・シティズンシップ教育について 1人1台端末の活用による情報活用能力の育成 児童生徒の協働的な学びにおけるICT活用 分かりやすい授業づくりのための教科指導におけるICT活用 学校におけるICTを活用した学習場面 学校教育の情報化 情報社会に主体的に参画する態度を育む指導	コンプライアンス（法令遵守）（アーカイブ） ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ
	グローバル教育	SDGs理解講座～SDGs達成に向けたJICAの取り組みと共に～ 熊野古道の歴史と文化 地方創生と教育～SDGsを学校教育に～ ESD（持続可能な開発のための教育）	教育一般 教育一般 教育一般 NITS 校内研修シリーズ
	人権教育	人権教育の進め方 人権教育と虹色の性 いろいろな場面で人権教育を！～『人権教育サポートガイドブック』を使って～ わかりやすく学ぶ！人権に関する法律～『人権教育サポートガイドブック』を使って～ 新ちゃんのお笑い人権講座 人権一人芝居「もも子」～人権教育と学級集団づくりについて考える～ 「多様な性のあり方を知り、行動するための職員ガイドライン」について 人権教育 学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち	人権教育 人権教育 人権教育 人権教育 人権教育（アーカイブ） 人権教育 人権教育 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ
教育課題への対応力	防災教育	「防災ノート」を活用した効果的な防災学習の進め方 巨大災害に備える 自らの命を守る防災教育 あの日学校で起きたこと ～改めて備えと災害時の対応について考える～ 災害から考える リスク・マネジメント 災害安全～災害から生き抜く力を育む防災教育～	学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ

②教頭・准校長及び校長

資質・能力にかかる項目		講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー 等
管理職に必要な素養		校長に求められるリーダーシップ・マネジメント・人材育成 リーダーシップとマネジメント	学校経営 NITS校内研修シリーズ
学校ビジョンの構築	課題把握 学校ビジョンの 明示	校長に求められるリーダーシップ・マネジメント・人材育成 学校のビジョンと戦略 学校ビジョンの理解と共有 学校の内外環境の分析と特色づくり	学校経営 NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ
	学校運営	次世代型ミドルリーダーをどう育むか 学校組織におけるミドル・アップダウン・マネジメント 学校の働きやすさ・働きがい改革 OODAループで考える学校課題の解決方法 自己肯定感の涵養につながるWell-Beingな学校づくり ラーニングコンパス(学びの羅針盤)を手がかりに 校長に求められるリーダーシップ・マネジメント・人材育成 三重の学校事務の「共同実施」～学校運営のための有効活用～ 学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために	学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 NITS校内研修シリーズ
	家庭・地域社会・ 関係機関との 連携と協働	地域の教育活性化とスクールリーダー 地域とともにある学校づくり 「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ～コミュニティ・スクールを核とした学校と地域の連携・協働～ 地域と共に創る教育 地域の教育活性化とスクールリーダー～ウェルビーイング循環編～	NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ
	危機管理	巨大災害に備える自らの命を守る防災教育 「防災ノート」を活用した効果的な防災学習の進め方 学校のリスクマネジメント	学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校経営
	職場環境づくり チームワーク	学校の働きやすさ・働きがい改革 校長に求められるリーダーシップ・マネジメント・人材育成 学校の働き方改革（管理職向け） 働き方改革時代の管理職に求められるタイムマネジメント・スキル 教職員のメンタルヘルス・マネジメント～管理職に求められる個別対応～	学校経営 学校経営 教育一般 NITS校内研修シリーズ NITS校内研修シリーズ
	教員の資質向上	【カテゴリー】 ・授業方法・教科指導等にある各講座 ・NITS 校内研修シリーズ（授業方法・教科指導等）（P. 参照）	
人材育成	人材育成	次世代型ミドルリーダーをどう育むか 校長に求められるリーダーシップ・マネジメント・人材育成	学校経営 学校経営

③養護教諭

資質・能力にかかる項目		講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー 等
養護教諭 (専門領域) に必要 事項	保健管理 保健教育 保健室経営 健康相談 保健組織活動	学校のリスクマネジメント 子どもの命をまもるためにーアナフィラキシー編ー 子どもの命をまもるためにー熱中症編ー スポーツ医学 ～指導者必須の課題～ こころが強くなるにはーすぐできるメンタルトレーニングー 学習指導要領に基づく性に関する指導 保健教育の基礎 学校における環境衛生（感染症対策） 学校における感染症対策の在り方 教育と法Ⅳ（学校の保健安全管理）	学校経営 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ NITS 校内研修シリーズ

④栄養教諭

資質・能力にかかる項目		講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー 等
栄養教諭 (専門領域) に必要 事項	栄養管理（献立作成） 衛生管理	子どもの「身体」「心」「知識・スキル」を育てる食育 子どもの命をまもるためにーアナフィラキシー編ー	健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス
	給食の時間の指導 教科等における指導 個別な相談指導	子どもの「身体」「心」「知識・スキル」を育てる食育 子どもの命をまもるためにーアナフィラキシー編ー 学校全体で取り組む食育の進め方～学級活動（２）で進める食育の授業づくりを中心に～	健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス NITS 校内研修シリーズ

<参考> NITS 校内研修シリーズ（授業方法・教科指導等）

カテゴリー	講座名
学習指導要領	学習指導要領 新学習指導要領を具現化した新教材の解説 学習指導要領の読み解き方 新しい学習指導要領において期待される学び
主体的・対話的で深い学び	『主体的・対話的で深い学び』を見取り、実現する校内研修 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて
カリキュラム・マネジメント	総則とカリキュラム・マネジメント アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ カリキュラム・マネジメント～新学習指導要領とこれからの授業づくり～ 総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント カリキュラム・マネジメントとは 深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント カリキュラム・マネジメント
道徳教育	道徳教育 道徳科に求められる評価 道徳科の授業の充実を図るために 道徳教育とカリキュラム・マネジメント 高等学校における道徳教育の充実に向けて 発達段階に応じた道徳科の指導 特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～通常の学級における指導の在り方：理論と実践～